



見積設計書

令和8年度 千種中央処理区下水道施設統廃合工事（岩野辺）

設計書
（当初設計）

工事番号 宍水下工第080102号

路線名

工事箇所 宍粟市千種町岩野辺 地内

工種

実施

宍粟市 建設部 上下水道課

工 事 番 号		宍 水 下 工 第 080102 号			工 事 概 要			
工 事 費								
設計額 R8.8.1 基準適用		実 施 円	今 回 変 更 円	増 減 額 円	概 要 名	数 量	単位	
請 負 額		()	()	()	土工	1.0	式	
					()	()	()	管布設工 (VU φ 150)
執 行 方 法		請 負	施 行 日 数	日 間		管布設工 (VU φ 200)	13.9	m
			施 行 期 限	令和9年3月25日 限り				
(起 工 理 由)					1 号マンホール	4.0	箇所	
					楕円マンホール	1.0	箇所	
					小口径マンホール	6.0	箇所	

1:50,000

千種町全図

平成四年六月調製



兵庫県赤松郡千種町役場

この地図は、建設省国土地院の承認を得て、国土地院の1万分の1地形図を縮小したものである。 (原図番号：平4-近初、第117号)

アート・マップ社 076-421-1968

総括情報表

単価適用年月日	00-08.08.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分（公共） 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休 2 日補正	15 下水道（ 2 ） 35 一般交通影響有り（ 2 ） - 2 02 補正なし 1.00 01 計上する 04 週休 2 日補正なし		

工事費内訳書

頁0-0002/0126

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
管路											
管きょ工 (管径VU150・200mm)											
管路土工											
管路掘削											
機械掘削工；バックホ											
		130		m3							
床掘り 土砂 上記以外(小規模)											
		240		m3							
管路埋戻											
；機械投入；埋戻工 流用土											
		60		m3							

工事費内訳書

頁0-0003/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満						
	100		m3			施工 第0 -0006号内訳表
；機械投入；埋戻工 再生切込砕石						
	30		m3			施工 第0 -0007号内訳表
埋戻工 再生切込砕石 最大埋戻幅1m未満						
	30		m3			施工 第0 -0008号内訳表
発生土処理						
；ダンプトラック；運搬 土砂 ；運搬距離 5 . 9 km路面：良好DID無						
	60		m3			施工 第0 -0009号内訳表
土砂等運搬；(小規模) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ；DID区間->無し						
	120		m3			施工 第0 -0011号内訳表
処分費 土 砂 ；投棄量 1 8 0 m3						
	1		式			施工 第0 -0012号内訳表
構造物撤去工						
構造物取壊し工						

工事費内訳書

頁0-0004/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版取壊し(管路)										
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	630		m						施工	第0 -0013号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	270		m2						施工	第0 -0014号内訳表
コンクリート構造物取壊し										
構造物とりこわし工；[機械施工] 無筋構造物	1		m3						施工	第0 -0015号内訳表
殻運搬処理										
殻運搬 舗装版破碎 ； D I D 区間無し L = 22.0km以下	9		m3						施工	第0 -0016号内訳表
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし ； D I D 区間無し L = 23.2km以下	1		m3						施工	第0 -0017号内訳表
処分費 アスファルト殻 ； 投棄量 9 m3	1		式						施工	第0 -0018号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費 コンクリート2次製品 ；投棄量 1 m3										
	1			式					施工	第0 -0019号内訳表
管布設工 (管径150mm、200mm 開削工法)										
硬質塩化ビニル管										
硬質塩化ビニル管設置工										
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm	13			m					施工	第0 -0020号内訳表
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	295			m					施工	第0 -0021号内訳表
ハットリ設置工 φ150半割管	1			式					施工	第0 -0022号内訳表
管基礎工										
下水道管基礎工										

工事費内訳書

頁0-0006/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂基礎設置工 スクリーングス						
	91	m3				施工 第0 -0024号内訳表
埋設表示シート工						
下水道管標識シート						
埋設表示シート 150×50 2倍						
	309	m				施工 第0 -0026号内訳表
埋設明示テープ 工 下水道用 W=50mm						
	309	m				施工 第0 -0028号内訳表
非常用仕切弁設置工						
非常用仕切弁設置						
非常用仕切弁設置工 φ150 7.5k						
	1	基				施工 第0 -0030号内訳表
非常用仕切弁室設置工 内径350 H=1900						
	1	組				施工 第0 -0037号内訳表

工事費内訳書

頁0-0007/0126

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
マンホール工											
組立マンホール工											
組立1号マンホール											
1号組立マンホール M2.M3.M9.M10											
		1			式					施工	第0 -0044号内訳表
楕円組立マンホール											
		1			式					施工	第0 -0050号内訳表
小型マンホール工											
小型マンホール											
小型マンホール設置工 起点落差形式(KDR)，鋳鉄製防護蓋 設置あり 鋳鉄製防護蓋：T-14,見積											
		2			箇所					施工	第0 -0053号内訳表
小型マンホール設置工 起点落差形式(KDR)，鋳鉄製防護蓋 設置あり 鋳鉄製防護蓋：T-25,見積											
		1			箇所					施工	第0 -0054号内訳表

工事費内訳書

頁0-0008/0126

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小型マンホールの設置工 起点及び中間形式、鋳鉄製防護蓋設置有 鋳鉄製防護蓋：T-14,見積						
		2		箇所			施工 第0 -0055号内訳表
	小型マンホールの設置工 起点および中間形式鋳鉄製防護蓋 設置あり 鋳鉄製防護蓋：T-14,見積						
		1		箇所			施工 第0 -0056号内訳表
街渠工							
街渠復旧工							
現場打街渠工							
現場打街渠 NG515B							
		3		m			施工 第0 -0057号内訳表
現場打街渠 NG515K							
		4		m			施工 第0 -0062号内訳表
舗装仮復旧							
舗装仮復旧工							

工事費内訳書

頁0-0009/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25,M-30,M-40 t = 2 0 0 mm	69		m2			施工 第0 -0064号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25,M-30,M-40 t = 1 2 0 mm	4		m2			施工 第0 -0065号内訳表
上層路盤(歩道部)						
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工 再生クラッシャー RC-30,RC-40	199		m2			施工 第0 -0066号内訳表
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部) t = 5 0 mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13) ; (2.35)	69		m2			施工 第0 -0067号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 3 0 mm 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13) ; (2.35)	4		m2			施工 第0 -0068号内訳表
表層(歩道部)						

工事費内訳書

頁0-0010/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層(歩道部) t = 30mm 細粒度アスコン[再](13) ; (2.15)										
	199		m	2					施工	第0 -0069号内訳表
舗装本復旧										
舗装準備工										
路盤鋤取り										
掘削 土砂 オープンカット 5,000m3未満										
	10		m	3					施工	第0 -0070号内訳表
発生土処理										
土砂等運搬 ; (標準) 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む) ; DID区間->無し										
	10		m	3					施工	第0 -0071号内訳表
処分費 土 砂 ; 投棄量 10m3										
	1			式					施工	第0 -0072号内訳表
構造物取壊し工										

工事費内訳書

頁0-0011/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版取壊し(本復旧)						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	120	m				施工 第0 -0013号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) ; 障害->無し ; 撤去厚->15cm以下	900	m2				施工 第0 -0073号内訳表
殻運搬処理						
殻運搬 舗装版破碎 ; D I D 区間無し L = 22.0km以下	34	m3				施工 第0 -0016号内訳表
処分費 アスファルト殻 ; 投棄量 3 4 m3	1	式				施工 第0 -0074号内訳表
濁水処理工 舗装版切断濁水	1	式				施工 第0 -0075号内訳表
舗装本復旧工						
不陸整正						

工事費内訳書

頁0-0012/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
不陸整正 補足材料->有り(28mm以上34mm未満) 粒調碎石 M-25,M-30,M-40	356	m2				施工 第0 -0078号内訳表
不陸整正 補足材料->有り(28mm以上34mm未満) 再生クラッシャー RC-30,RC-40	550	m2				施工 第0 -0079号内訳表
基層(車道・路肩部)						
基層(車道・路肩部) t = 5 0 mm 粗粒度アスコン[再](20) ; (2.35)	266	m2				施工 第0 -0080号内訳表
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部) 【国道部】 t = 5 0 mm 密粒度アスコン[下水スガ 入再生材](13) ; (2.35)	266	m2				施工 第0 -0081号内訳表
表層(車道・路肩部) 【市道部】 t = 5 0 mm 密粒度アスコン[下水スガ 入再生材](13) ; (2.35)	90	m2				施工 第0 -0082号内訳表
表層(歩道部)						
表層(歩道部) t = 3 0 mm 細粒度アスコン[再](13) ; (2.15)	550	m2				施工 第0 -0083号内訳表

工事費内訳書

頁0-0013/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線工						
溶融式区画線						
区画線設置 [溶融式] 実線 15cm t=1.5mm						
	83	m				施工 第0 -0084号内訳表
密粒度アスファルト用カー舗装工 100m2未満 車道部 昼間 樹脂系排水性トップコート						
	20	m2				
仮設工						
土留・仮締切工						
簡易たて込み土留						
たて込み簡易土留工 15m1セット H=2.0m						
	25	m				施工 第0 -0087号内訳表
たて込み簡易土留工 15m1セット H=2.5m						
	36	m				施工 第0 -0091号内訳表

工事費内訳書

頁0-0014/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
簡易たて込み土留整備費 H2.0m, 2.5m 15m1t						
	1		式			施工 第0 -0094号内訳表
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	70		人日			施工 第0 -0095号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
仮設材運搬費						
			式			
仮設材等の運搬（往路） 製品長->12m以内 ；運搬距離 2 9 . 4 km						
	11		t			施工 第0 -0096号内訳表

工事費内訳書

頁0-0015/0126

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等の運搬（復路） 製品長->12m以内 ；運搬距離 2 9 . 4 km						
	11		t			施工 第0 -0097号内訳表
仮設材等の積込み・取卸し 〔 積込み取卸し(往復分) 〕						
	11		t			施工 第0 -0098号内訳表
共通仮設費率 分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			
工事価格計						
消費税相当額						
			式			

工事費内訳書

頁0-0016/0126

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
総	計										

施工単価表

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0017/0126

機械掘削工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		100	m3	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					
普通作業員			人					
バックホ運転			時間					
合 計		100	m3					
単 位 当 り		1	m3					
A 土留の種別 B バックホ規格			=1 =3	たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)				

床掘り

[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0003号内訳表

頁0-0018/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機劣材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	バックホウ(ｸｰﾗ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排出ガス(第2次)]			バックホウ(ｸｰﾗ型) [後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次)] 0.28/0.2m3			
	K							
	R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z1	軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z							
					計			
	積算単価 =							
	A 土質	=1		土砂				
	B 施工方法	=5		上記以外(小規模)				

施工単価表

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0019/0126

埋戻工

[規格1]流用土		[規格2]	[摘要]			100	m3	当り
名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
土木一般世話役			人					
普通作業員			人					
流用土			m3					
バック杓運転			時間					
タンバ締固め	100.00		m3				施工 第0-0005号内訳表	
合 計	100		m3					
単 位 当 り	1		m3					
A 埋戻し材の種類 B 土留の種別 C バック杓規格		=3 =1 =3		流用土 たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バック杓 山積0.28m3(平積0.2m3)				

タンパ締固め

[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0020/0126

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	タパ° 及びランマ 質量60 ~ 80kg			タパ° (ランマ) 60 ~ 80kg				
	K								
	R1	特殊作業員			特殊作業員				
	R2	普通作業員			普通作業員				
	R								
	Z1	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド				
	Z								
					計				
	積算単価 =								

埋戻し

[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0021/0126

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ(ｸｰﾗ型)山積0.45m3(平積0.35m3) [後方超小旋回型・超低騒音・排ガス(2014年)]					バックホウ(ｸｰﾗ型) [後方超小旋回型・超低騒音・排ガス(2014年)] 0.45/0.35m3			
K2		ﾀﾝﾊﾞ 及びﾌﾗﾝｽ 質量60～80kg					ﾀﾝﾊﾞ (ﾌﾗﾝｽ) 60～80kg			
K										
R1		普通作業員					普通作業員			
R2		特殊作業員					特殊作業員			
R3		運転手(特殊)					運転手(特殊)			
R										
Z1		軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油					軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油			
Z2		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚﾞﾞﾕｰｰｽﾀﾝﾄﾞ					ﾚﾞﾞﾕｰｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ			
Z										
							計			
積算単価		=								

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0022/0126
m3 当り

標準単価		代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	A	施工方法	=4		最大埋戻幅1m未満					

施工単価表

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0023/0126

埋戻工

[規格1]再生切込砕石		[規格2]	[摘要]			100	m3	当り
名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
土木一般世話役			人					
普通作業員			人					
再生切込砕石 (0～30mm・0～40mm)			m3					
バックホ運転			時間					
タンバ締固め	100.00		m3				施工 第0-0005号内訳表	
合 計	100		m3					
単 位 当 り	1		m3					
A 埋戻し材の種類 B 土留の種類別 C バックホ規格		=6 =1 =3		再生切込砕石 たて込み簡易・軽量鋼矢板・アルミ矢板 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)				

頁0-0024/0126

当り

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0025/0126

当り

28/184

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0011号内訳表

頁0-0026/0126

m3 当り

標準単価		代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2		小規模				
B	積込機種・規格	=5		バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)				
C	土質	=1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)				
D	DID区間の有無	=1		無し				
G	運搬距離3	=14		6.0km以下				

頁0-0027/0126

当口

30/184

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0028/0126

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R3		普通作業員			普通作業員			
	R								
	Z1		コンクリートカッタ(ブレード) 径18インチ			舗装版切断 カッターブレード 径18インチ			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
A	舗装版種別			=1		アスファルト舗装版			
B	アスファルト舗装版厚			=1		15cm以下			

舗装版破碎積込(小規模土工)

[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0029/0126

m2 当り

標準単価		代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
標準単価	K1		小型ハックル(ｸﾛｰ型)山積0.13m3(平積0.10m3) [標準型・排出ｶﾞｽ型(第2次基準値)]				小型ハックル(ｸﾛｰ型) [標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油				軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									

頁0-0030/0126

〔規格 1〕無筋構造物

[規格 2]

[摘要]

1

m3

当り

33/184

殻運搬

[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0016号内訳表

頁0-0031/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・デ・イゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・デ・イゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般)			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	殻発生作業	=3		舗装版破碎					
	B	積込工法区分	=3		機械(騒音対策不要、15cm以下)					
	C	DID区間の有無	=1		無し					
	D	運搬距離	=38		22.0km以下					

殻運搬

積算単価算出表

施工 第0 -0017号内訳表

頁0-0032/0126

[規格1] コンクリート(無筋)構造物とりこわし

[規格2]

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・デ・イゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・デ・イゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般)			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	殻発生作業	=1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし					
	B	積込工法区分	=1		機械					
	C	DID区間の有無	=1		無し					
	D	運搬距離	=40		23.2km以下					

頁0-0033/0126

「規格 1」アスファルト殻

〔規格 2〕

〔摘要〕

式

当り

36/184

頁0-0034/0126

式 当り

37/184

施工単価表

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0035/0126

硬質塩化ビニル管設置工

[規格1] 呼び径 200mm

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管設置工 呼び径200mm	1.00	m			
単 位 当 り	1	m			
A 管径区分		=2	呼び径 200mm		
B 施工規模		=1	20m以上		
C 時間的制約の補正		=1	時間的制約なし		
D 夜間作業の補正		=1	昼間作業		

頁0-0036/0126

当日

39/184

施工単価表

施工 第0 -0022号内訳表

頁0-0037/0126

ハッフル設置工

[規格1] φ150半割管

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VU半割れパイプ φ150×1.3m	1	個			見積
厚サドル ステンレス製 φ150用	3	個			見積
あと施工アンカー M10×660 芯棒打込み式 ステンレス	6	本			建設物価1誌の単価
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	6	孔			施工 第0-0023号内訳表
単 位 当 り	1	式			

コンクリート削孔(電動ハンマドリル) [規格1] 積算単価算出表 [規格2] 施工 第0 -0023号内訳表 [摘要] 1 頁0-0038/0126 孔 当り									
標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		発動発電機 2kVA [ガソリンエンジン駆動]			発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2kVA			
	K2		電動ハンマドリル [穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm]			その他 [電動ハンマドリル] φ 38mm ~ 40mm			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン スタンド			
	Z								
						計			
	積算単価	=							
	A	削孔深さ	=1		30mm以上200mm未満				

頁0-0039/0126

当り

42/184

頁0-0040/0126

当日

43/184

頁0-0041/0126

[規格 1] 150×50 2倍

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

施工 第0-0027号内訳表

建設物価と積算資料の2誌平均単価

施工単価表

施工 第0 -0027号内訳表

頁0-0042/0126

管明示シート工

[規格1]

[規格2] 摘要：水道事業実務必携

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

頁0-0043/0126

当り

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0044/0126

当口

47/184

施工単価表

施工 第0 -0030号内訳表

頁0-0045/0126

非常用仕切弁設置工

[規格1] φ150 7.5k

[規格2]

[摘要]

1

基

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
非常用仕切弁材料 仕切弁 φ150 左開	1	基			施工 第0-0031号内訳表
非常用仕切弁設置労務費	1	基			施工 第0-0032号内訳表
単 位 当 り	1	基			

頁0-0046/0126

[規格 1] 仕切弁 φ150 左開

[規格 2]

〔摘要〕

基

当り

49/184

施工単価表

施工 第0 -0032号内訳表

頁0-0047/0126

非常用仕切弁設置労務費

[規格1]		[規格2]	[摘要]			1	基	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単	価	金 額	備	考
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 鋳鉄製仕切弁 呼び径 150mm 摘要：水道事業実務必携		1	基				施工	第0-0033号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 150mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり 摘要：水道事業実務必携		2	口				施工	第0-0035号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 150mm) J W W A 7.5 K 摘要：水道事業実務必携		2	口				施工	第0-0036号内訳表
単 位 当 り		1	基					

施工単価表

施工 第0 -0033号内訳表

頁0-0048/0126

鋳鉄製仕切弁(機械力)設置

[規格1] 鋳鉄製仕切弁 呼び径 150mm

[規格2] 摘要：水道事業実務必携

[摘要]

1 基 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラック(クレーン装置付)運転		時間			
単 位 当 り	1	基			

施工単価表

施工 第0 -0035号内訳表

頁0-0049/0126

M2加継手 接合(呼び径 150mm)

[規格1]継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格2]摘要：水道事業実務必携

[摘要]

1

□ 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合) 12
普通作業員		人			(接合) 12
諸雑費		%			#01 (接合) 2
単 位 当 り	1	□			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=3	呼び径 150mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F 割増補正(%)		=	割増補正(%)		
G 現場状況		=1	良好(係数 1.0)		
I 耐震型補強金具使用による補正の有無		=1	耐震型補強金具補正なし		

施工単価表

施工 第0 -0036号内訳表

頁0-0050/0126

フランジ継手 接合(呼び径 150mm)

[規格1] J W W A 7.5 K

[規格2] 摘要：水道事業実務必携

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 規格		=1	J W W A 7.5 K		
C 呼び径		=5	呼び径 150mm		
D 耐震型補強金具設置		=1	設置しない		

頁0-0051/0126

当り

54/184

施工単価表

施工 第0 -0038号内訳表

頁0-0052/0126

仕切弁室設置労務費

[規格1]内径350 H=1900		[規格2]		[摘要]		1	組	当り
名 称 ・ 規 格	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
鉄蓋設置工(円形2号 内径350)	1		個				施工	第0-0039号内訳表
摘要：水道事業実務必携								
レゾンコンクリート製ホックス設置(円形) 円形2号 内径350 上部壁 高さ 150mm	1		個				施工	第0-0040号内訳表
摘要：水道事業実務必携								
レゾンコンクリート製ホックス設置(円形) 円形2号 内径350 中部壁 高さ 300mm	4		個				施工	第0-0041号内訳表
摘要：水道事業実務必携								
レゾンコンクリート製ホックス設置(円形) 円形2号 内径350 下部壁 高さ 300mm	1		個				施工	第0-0042号内訳表
摘要：水道事業実務必携								
レゾンコンクリート製ホックス設置(円形) 円形2号 内径350 底版	1		個				施工	第0-0043号内訳表
摘要：水道事業実務必携								
単 位 当 り	1		組					

頁0-0053/0126

個 当り

56/184

頁0-0054/0126

〔摘要〕

57/184

頁0-0055/0126

[摘要]

58/184

頁0-0056/0126

[摘要]

考

高さ 300mm

頁0-0057/0126

1 個 当り

60/184

施工単価表

施工 第0 -0044号内訳表

頁0-0058/0126

1号組立マンホールの

[規格1] M2.M3.M9.M10

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
デザインマンホール(兵庫県流域下水道用同等品) 重車道用(T-25) 内径600mm 転落防止用はしご含まない	3	組			
デザインマンホール(兵庫県流域下水道用) 車道用(T-14) 内径600mm 転落防止用はしご含まない	1	組			
転落防止はしご φ 600用	4	組			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	4	組			
無収縮珪砂	5	袋			建設物価と積算資料の2誌平均単価
調整リンク 組立式(V型) 600×50mm	3	個			
調整リンク 組立式(V型) 600×100mm	1	個			
調整リンク 組立式(V型) 600×150mm	2	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×300mm	2	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	2	個			
1号底付 900×700mm	1	個			
1号底付 900×900mm	1	個			

施工単価表

施工 第0 -0044号内訳表

頁0-0059/0126

1号組立マンホール

[規格1] M2.M3.M9.M10

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号底付 900×1300mm	1	個			
1号底付 900×1600mm	1	個			
くら型マンホール継手 径150用	8	本			
くら型マンホール継手 径200用	3	本			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ150mm用	4	箇所			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ200mm用	3	箇所			
底部工 [組立式]	4	箇所			施工 第0-0045号内訳表
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	4	箇所			施工 第0-0049号内訳表
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0 -0045号内訳表

頁0-0060/0126

底部工 [組立式]

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備	考	
再生切込碎石 (0 ~ 30mm・0 ~ 40mm)			m3					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物		0.10	m3				施工 第0-0046号内訳表	
珪藻土塗り工 [マンホール用] 厚 20mm		0.71	m2				施工 第0-0047号内訳表	
単 位 当 り		1	箇所					
A 基礎材の種類			=2	基礎材の種類->再生切込碎石				
B 碎石基礎厚さ(m)			=0.2	碎石基礎厚さ(m)				
C 碎石基礎面積(m2/箇所)			=0.95	碎石基礎面積(m2/箇所)				
D インポートコンクリート数量(m3/箇所)			=0.1	インポートコンクリート数量(m3/箇所)				
E 珪藻土塗り数量(m2/箇所)			=0.71	珪藻土塗り数量(m2/箇所)				

コンクリート

[規格 1] 無筋・鉄筋構造物

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0 -0046号内訳表

頁0-0061/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K								
	R1	普通作業員				普通作業員			
	R2	特殊作業員				特殊作業員			
	R3	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A	構造物種別	=1		無筋・鉄筋構造物				
	B	打設工法	=4		人力打設				
	C	コンクリート規格	=9		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
	E	養生工の種類	=2		一般養生				
	G	現場内小運搬の有無	=2		無し				

頁0-0062/0126

当日

施工 第0-0048号内訳表

モルタル練

[規格1] 高炉

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0048号内訳表

頁0-0063/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		セメント 高炉B 25kg袋入				高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
	Z2		砂 細目(洗い)				砂 洗砂			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	セメント種類	=3		高炉					
	B	砂種類	=1		洗砂					

頁0-0064/0126

箇所 当り

67/184

施工単価表

施工 第0 -0050号内訳表

頁0-0065/0126

楕円組立マンホール

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	式	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
デザインマンホール(兵庫県流域下水道用) 重車道用(T-25) 内径600mm 転落防止用はしご含まない	1	組			
転落防止はしご φ 600用	1	組			
調整金具 組立式(U型) 調整高さ45mmまで	1	組			
無収縮珪砂	1	袋			建設物価と積算資料の2誌平均単価
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×450mm	1	個			
底付(オバル) 楕円形組立式(V型) 600×900×670mm	1	個			
くら型マンホール継手 径150用	2	本			
削孔代 0号,1号 組立式(V型) φ 150mm用	1	箇所			
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0051号内訳表
組立マンホール設置工 0号(楕円) マンホール深さ2m以下	1	箇所			施工 第0-0052号内訳表
単 位 当 り	1	式			

施工単価表

施工 第0 -0051号内訳表

頁0-0066/0126

底部工 [組立式]

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備	考	
再生切込碎石 (0 ~ 30mm・0 ~ 40mm)			m3					
コンクリート 無筋・鉄筋構造物		0.09	m3				施工 第0-0046号内訳表	
珪藻土塗り工 [マンホール用] 厚 20mm		0.54	m2				施工 第0-0047号内訳表	
単 位 当 り		1	箇所					
A 基礎材の種類			=2	基礎材の種類->再生切込碎石				
B 碎石基礎厚さ(m)			=0.2	碎石基礎厚さ(m)				
C 碎石基礎面積(m2/箇所)			=0.67	碎石基礎面積(m2/箇所)				
D インポートコンクリート数量(m3/箇所)			=0.09	インポートコンクリート数量(m3/箇所)				
E 珪藻土塗り数量(m2/箇所)			=0.54	珪藻土塗り数量(m2/箇所)				

頁0-0067/0126

箇所 当り

70/184

施工単価表

施工 第0 -0053号内訳表

頁0-0068/0126

小型マンホール設置工

[規格1] 起点落差形式(KDR), 鋳鉄製防護蓋 設置あり [規格2] 鋳鉄製防護蓋: T-14, 見積

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 2m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
起点落差形式(KDR)設置費(加算額) 起点落差形式2m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
鋳鉄製防護蓋設置費(加算額) 手間のみ 小型マンホール工		箇所			
鋳鉄製防護蓋		組			
単 位 当 り	1	箇所			
A 施工区分		=2	起点落差形式(KDR)		
B 小型マンホール規格・仕様区分		=1	深さ2m以下 本管径150mm及び200mm		
C 1工事の施工規模(S)		=1	施工規模 5箇所以上		
D 時間的制約(K1)		=1	時間的制約なし		
E 夜間作業(K2)		=1	昼間作業		
F 鋳鉄製防護蓋設置の有無		=2	鋳鉄製防護蓋 設置あり		
G 鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		=	鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		

施工単価表

施工 第0 -0054号内訳表

頁0-0069/0126

小型マンホール設置工

[規格1] 起点落差形式(KDR), 鋳鉄製防護蓋 設置あり [規格2] 鋳鉄製防護蓋: T-25, 見積

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 2m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
起点落差形式(KDR)設置費(加算額) 起点落差形式2m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
鋳鉄製防護蓋設置費(加算額) 手間のみ 小型マンホール工		箇所			
鋳鉄製防護蓋		組			
単 位 当 り	1	箇所			
A 施工区分		=2	起点落差形式(KDR)		
B 小型マンホール規格・仕様区分		=1	深さ2m以下 本管径150mm及び200mm		
C 1工事の施工規模(S)		=1	施工規模 5箇所以上		
D 時間的制約(K1)		=1	時間的制約なし		
E 夜間作業(K2)		=1	昼間作業		
F 鋳鉄製防護蓋設置の有無		=2	鋳鉄製防護蓋 設置あり		
G 鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		=	鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		

施工単価表

施工 第0 -0055号内訳表

頁0-0070/0126

小型マンホール設置工

[規格1] 起点及び中間形式、鋳鉄製防護蓋設置有

[規格2] 鋳鉄製防護蓋：T-14,見積

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 2m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
鋳鉄製防護蓋設置費(加算額) 手間のみ 小型マンホール工		箇所			
鋳鉄製防護蓋		組			
単 位 当 り	1	箇所			
A 施工区分	=1		起点および中間形式(KT・ST・L・DR)		
B 小型マンホール規格・仕様区分	=1		深さ2m以下 本管径150mm及び200mm		
C 1工事の施工規模(S)	=1		施工規模 5箇所以上		
D 時間的制約(K1)	=1		時間的制約なし		
E 夜間作業(K2)	=1		昼間作業		
F 鋳鉄製防護蓋設置の有無	=2		鋳鉄製防護蓋 設置あり		
G 鋳鉄製防護蓋単価(円/組)	=		鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		

施工単価表

施工 第0 -0056号内訳表

頁0-0071/0126

小型マンホール設置工

[規格1] 起点および中間形式鋳鉄製防護蓋 設置あり [規格2] 鋳鉄製防護蓋：T-14, 見積

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 2m超～3.5m以下 本管径150mmおよび200mm		箇所			
鋳鉄製防護蓋設置費(加算額) 手間のみ 小型マンホール工		箇所			
鋳鉄製防護蓋		組			
単 位 当 り	1	箇所			
A 施工区分	=1		起点および中間形式	(KT・ST・L・DR)	
B 小型マンホール規格・仕様区分	=3		深さ2m超～3.5m以下	本管径150mm及び200mm	
C 1工事の施工規模(S)	=1		施工規模 5箇所以上		
D 時間的制約(K1)	=1		時間的制約なし		
E 夜間作業(K2)	=1		昼間作業		
F 鋳鉄製防護蓋設置の有無	=2		鋳鉄製防護蓋 設置あり		
G 鋳鉄製防護蓋単価(円/組)	=		鋳鉄製防護蓋単価(円/組)		

施工単価表

施工 第0 -0057号内訳表

頁0-0072/0126

現場打街渠

[規格1] NG515B		[規格2]		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
歩車道境界ブロック設置 標準部 B型 基礎砕石:無し 基礎コン:無し		10.00		m			施工 第0-0058号内訳表	
コンクリート 小型構造物		0.80		m3			施工 第0-0059号内訳表	
型枠 一般型枠 小型構造物		2.10		m2			施工 第0-0060号内訳表	
基礎砕石 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャー RC-30,RC-40		8.00		m2			施工 第0-0061号内訳表	
合 計		10		m				
単 位 当 り		1		m				
A 街渠の形状			=2		マウントアップ 型(NG500型)			
B ブロック種別			=2		B型			
C 1ブロック厚(T)			=1		T = 150mm			
D 基礎材区分			=3		再生切込砕石基礎			
E 前面型枠の有無			=2		前面型枠あり			

歩車道境界ブロック設置

[規格1] 標準部 B型

[規格2] 基礎砕石:無し 基礎コン:無し

積算単価算出表

施工 第0 -0058号内訳表

頁0-0073/0126

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		小型バックホウ 山積0.09m ³ (平積0.07)0.9t吊 [クロー型クレーン付後方超小旋回型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クロー後方超小旋回クレーン0.9t山積0.09m ³			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)			歩車道境界ブロック B [下水汚泥スリ入り] 一般部			
	Z2		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A	作業区分	=1		設置				
	B	ブロック種別	=1		歩車道境界ブロック				
	C	ブロック規格	=2		標準部 B型				

歩車道境界ブロック設置

頁0-0074/0126

[摘要]

m	当り
---	----

77/184

コンクリート

[規格 1] 小型構造物

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0 -0059号内訳表

頁0-0075/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		普通作業員				普通作業員			
	R2		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R3		特殊作業員				特殊作業員			
	R									
	Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	構造物種別	=2		小型構造物					
	B	打設工法	=4		人力打設					
	C	コンクリート規格	=10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
	E	養生工の種類	=2		一般養生					
	G	現場内小運搬の有無	=2		無し					

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0 -0060号内訳表

頁0-0076/0126
m2 当り

標準単価		代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K									
	R1		型わく工				型わく工			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	型枠の種類	=1		一般型枠					
	B	構造物の種類	=2		小型構造物					

基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30,RC-40

積算単価算出表

施工 第0 -0061号内訳表

頁0-0077/0126

[規格 1] 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下				[規格 2] 再生クラッシャー RC-30,RC-40				[摘要]				1	m2	当り
標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格			単 価	補 正 構成比	備 考			
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クラ型] 排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧式クラ型山積0.8m3級								
K														
R1		普通作業員				普通作業員								
R2		特殊作業員				特殊作業員								
R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)								
R4		土木一般世話役				土木一般世話役								
R														
Z1		再生クラッシャー RC-40				再生切込砕石 (0～30mm・0～40mm)								
Z2		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油								
Z														
						計								
積算単価	=													

基礎碎石

頁0-0078/0126

[摘要]

m2	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0062号内訳表

頁0-0079/0126

現場打街渠

[規格1] NG515K		[規格2]		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
歩車道境界ブロック設置 切下部 K型 基礎砕石:無し 基礎コン:無し		10.00		m			施工 第0-0063号内訳表	
コンクリート 小型構造物		0.90		m3			施工 第0-0059号内訳表	
型枠 一般型枠 小型構造物		2.10		m2			施工 第0-0060号内訳表	
基礎砕石 砕石厚->7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャー RC-30,RC-40		8.00		m2			施工 第0-0061号内訳表	
合 計		10		m				
単 位 当 り		1		m				
A 街渠の形状				=4	歩道巻込部(NG500K型)			
C 17°の厚(T)				=1	T = 150mm			
D 基礎材区分				=3	再生切込砕石基礎			
E 前面型枠の有無				=2	前面型枠あり			

歩車道境界ブロック設置

[規格1] 切下部 K型

[規格2] 基礎砕石:無し 基礎コン:無し

積算単価算出表

施工 第0 -0063号内訳表

頁0-0080/0126

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K								
	R1		普通作業員			普通作業員			
	R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R3		特殊作業員			特殊作業員			
	R								
	Z1		歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600)			歩車道境界ブロック K [下水汚泥スリット入り] 歩道巻込部			
	Z								
						計			
	積算単価 =								
	A	作業区分	=1		設置				
	B	ブロック種別	=1		歩車道境界ブロック				
	C	ブロック規格	=5		切下部 K型				
	D	基礎砕石規格	=1		無し				
	E	均し基礎コンクリート規格	=1		無し				

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 粒調碎石 M-25,M-30,M-40

[規格2] t = 200mm

積算単価算出表

施工 第0 -0064号内訳表

頁0-0081/0126

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		モータレータ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータレータ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
	K2		ロードロー 質量10～12t [マガム] 排出ガス対策型含			ロードロー(排出ガス対策型含) マガム 10～12t			
	K3		タイヤロー 質量13～14t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 13～14t			
	K								
	R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		特殊作業員			特殊作業員			
	R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=200mm			粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)			
	Z2		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								

上層路盤(車道・路肩部)

[摘要]

頁0-0082/0126

m2	当り
----	----

[illegible]

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 粒調碎石 M-25,M-30,M-40

[規格2] t = 120mm

積算単価算出表

施工 第0 -0065号内訳表

頁0-0083/0126

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	モータレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]				モータレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
	K2	ロードロー 質量10～12t [マガム] 排出ガス対策型含				ロードロー(排出ガス対策型含) マガム 10～12t			
	K3	タイヤロー 質量13～14t 排出ガス対策型含				タイヤロー(排出ガス対策型含) 13～14t			
	K								
	R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R2	普通作業員				普通作業員			
	R3	特殊作業員				特殊作業員			
	R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm				粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)			
	Z2	軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z								

上層路盤(歩道部)

[規格1] 全仕上り厚 t = 100 1層施工

[規格2] 再生クラッシャー RC-30,RC-40

積算単価算出表

施工 第0 -0066号内訳表

頁0-0085/0126

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バ ックホ (ｸﾚｰ型) 山積0.09m3 (平積0.07m3) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)]				小型バ ックホ (ｸﾚｰ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排ガス(3次)] 0.09/0.07m3			
K2		振動ロー (舗装用) 質量3～4t [搭乗ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ 式] 排出ガス対策型含				振動ロー (排出ガス対策型含) 搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ 型 3～4t			
K									
R1		運転手 (特殊)				運転手 (特殊)			
R2		特殊作業員				特殊作業員			
R3		普通作業員				普通作業員			
R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z1		再生粒度調整碎石 RM-30 全厚 t=100mm				再生切込碎石 (0～30mm・0～40mm)			
Z2		軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油				軽油 ﾊﾞﾄﾛｰﾙ給油			
Z									
						計			

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

施工 第0 -0067号内訳表

頁0-0087/0126

1

m2 当り

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ロー(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイ式]				振動ロー(舗装用) [ハンドガイ式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン スタンド			
	Z3		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 密粒度アスコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

積算単価算出表

施工 第0 -0068号内訳表

頁0-0089/0126

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ロー(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイト式]				振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		密粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アスコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン スタンド			
	Z3		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 細粒度アスコン(再)(13)

積算単価算出表

施工 第0 -0069号内訳表

頁0-0091/0126

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		振動ロー(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハンドガイト式]				振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 0.5～0.6t			
	K2		振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]				振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
	K									
	R1		特殊作業員				特殊作業員			
	R2		普通作業員				普通作業員			
	R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
	R									
	Z1		細粒度アスコン TOP13 t=40mm				再生細粒度アスコン TOP13			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド				レギュラーガソリン スタンド			
	Z3		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			

掘削

[規格1] 土砂 オープンカット

[規格2] 5,000m3未満

積算単価算出表

施工 第0 -0070号内訳表

頁0-0093/0126

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		バックホウ(クロー型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(3次)]				バックホウ(クロー型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次)] 0.8/0.6m3			
	K									
	R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	土質	=1		土砂					
	B	施工方法	=1		オープンカット					
	C	押土の有無	=2		無し					
	D	障害の有無	=1		無し					
	E	施工数量	=3		5,000m3未満					

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0 -0071号内訳表

頁0-0094/0126

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		ダンプトラック[オンロード・ディゼール] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)				ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディゼール] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
	K									
	R1		運転手(一般)				運転手(一般)			
	R									
	Z1		軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			
	Z									
							計			
	積算単価 =									
	A	土砂等発生現場	=1		標準					
	B	積込機種・規格	=1		バックホウ積0.8m3(平積0.6m3)					
	C	土質	=1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	D	DID区間の有無	=1		無し					
	E	運搬距離1	=14		6.5km以下					

頁0-0095/0126

当り

98/184

舗装版破碎(アスファルト舗装版)

[規格 1]

[規格 2] 撤去厚->15cm以下

積算単価算出表

施工 第0 -0073号内訳表

頁0-0096/0126

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [ｸﾏﾗ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ｶﾞｽ対策型含				バックホウ(排出ｶﾞｽ対策型・超低騒音型含) 油圧ｸﾏﾗ後方超小旋回 山積0.45m3級			
K									
R1		土木一般世話役				土木一般世話役			
R2		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R3		普通作業員				普通作業員			
R									
Z1		軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油				軽油 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版					
B	障害等の有無	=1		無し					
C	騒音振動対策	=1		不要					
D	舗装版厚	=1		15cm以下					
F	積込作業の有無	=1		有り					

頁0-0097/0126

当り

100/184

頁0-0098/0126

式 当り

施工 第0-0077号内訳表

頁0-0099/0126

当り

102/184

頁0-0100/0126

規格 1	規格 2	摘要	1	台	当り
------	------	----	---	---	----

103/184

不陸整正

積算単価算出表

施工 第0 -0078号内訳表

頁0-0101/0126

[規格1] 補足材料->有り(28mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25,M-30,M-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		モータレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
	K2		ロードロー 質量10～12t [マダム] 排出ガス対策型含			ロードロー(排出ガス対策型含) マダム 10～12t			
	K3		タイヤロー 質量13～14t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 13～14t			
	K								
	R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		特殊作業員			特殊作業員			
	R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生クッシャー RC-40			粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)			
	Z2		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								

不陸整正

積算単価算出表

施工 第0 -0079号内訳表

頁0-0103/0126

[規格1] 補足材料->有り(28mm以上34mm未満)

[規格2] 再生クワッシャー RC-30,RC-40

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機劣材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		モータレーダ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータレーダ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
	K2		ロードロー 質量10～12t [マガム] 排出ガス対策型含			ロードロー(排出ガス対策型含) マガム 10～12t			
	K3		タイヤロー 質量13～14t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 13～14t			
	K								
	R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
	R2		普通作業員			普通作業員			
	R3		特殊作業員			特殊作業員			
	R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
	R								
	Z1		再生クワッシャー RC-40			再生切込碎石 (0～30mm・0～40mm)			
	Z2		軽油 パトロール給油			軽油 パトロール給油			
	Z								

基層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0 -0080号内訳表

頁0-0105/0126

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含				アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
	K3	ロードローラ 質量10～12t [マガラム] 排出ガス対策型含				ロードローラ(排出ガス対策型含) マガラム 10～12t			
	K								
	R1	普通作業員				普通作業員			
	R2	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3	特殊作業員				特殊作業員			
	R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	再生粗粒度アスコン TOP20 t=50mm				再生粗粒度アスコン TOP20			
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用				アスファルト乳剤 PK-3(フライムコート用)			
	Z3	軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			

[規格 1] $t = 50 \text{ mm}$

積算単価算出表

施工 第0 -0080号内訳表

頁0-0106/0126

「規格 1」 $t = 50 \text{ mm}$ 「規格 2」 粗粒度アスコン[再](20)

[摘要]

1

m2 当り

[illegible]

表層(車道・路肩部) 【国道部】

積算単価算出表

施工 第0 -0081号内訳表

頁0-0107/0126

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含				アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
	K3	ロードローラ 質量10～12t [マガム] 排出ガス対策型含				ロードローラ(排出ガス対策型含) マガム 10～12t			
	K								
	R1	普通作業員				普通作業員			
	R2	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3	特殊作業員				特殊作業員			
	R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	密粒度アコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用				アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
	Z3	軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			

表層(車道・路肩部) 【市道部】

積算単価算出表

施工 第0 -0082号内訳表

頁0-0109/0126

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アコン[下水スラグ入再生材](13)

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含				アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
	K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含				タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
	K3	ロードローラ 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含				ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
	K								
	R1	普通作業員				普通作業員			
	R2	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
	R3	特殊作業員				特殊作業員			
	R4	土木一般世話役				土木一般世話役			
	R								
	Z1	密粒度アコン TOP20 t=50mm				再生密粒度アコン(下水汚泥スラグ入) TOP13			
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用				アスファルト乳剤 PK-3(フライムコート用)			
	Z3	軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油			

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 細粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0 -0083号内訳表

頁0-0111/0126

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
	K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅1.4～3.0m [クローラ型]				アスファルトフィニッシュ [クローラ型] 1.4～3.0m				
	K2	振動ローラ(舗装用) 質量3～4t [搭乗コンバイント式] 排出ガス対策型含				振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンバイント型 3～4t				
	K									
	R1	普通作業員				普通作業員				
	R2	特殊作業員				特殊作業員				
	R3	運転手(特殊)				運転手(特殊)				
	R4	土木一般世話役				土木一般世話役				
	R									
	Z1	細粒度アスコン TOP13 t=40mm				再生細粒度アスコン TOP13				
	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用				アスファルト乳剤 PK-3(フライムコート用)				
	Z3	軽油 パトロール給油				軽油 パトロール給油				
	Z									

施工単価表

施工 第0 -0084号内訳表

頁0-0113/0126

区画線設置 [溶融式]

[規格1]実線 15cm t=1.5mm		[規格2]		[摘要]		1	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
区画線設置 [溶融式] 機械・労務				m			施工 第0-0085号内訳表	
区画線設置 [溶融式] 材料				m			施工 第0-0086号内訳表	
単 位 当 り		1		m				
A 夜間作業の有無			=1		昼間作業			
B 規格・仕様区分			=1		実線 15cm			
C 時間的制約の有無			=1		時間的制約なし			
D 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
E 未供用区間の補正			=1		供用区間			
F 塗布厚			=1		t=1.5mm			
G 塗料区分			=1		白			
H プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			
I 1日未満で完了する作業			=1		適用しない			

頁0-0114/0126

〔規格 1〕

[規格 2]

〔摘要〕

1

m

当口

117/184

施工単価表

施工 第0 -0086号内訳表

頁0-0115/0126

区画線設置〔溶融式〕 材料

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1000	m	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0				kg				1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)				kg				1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9				kg				1
軽油 パトロール給油				L				1
諸雑費				%			#01	
合 計				m				
単 位 当 り		1		m				
A 規格・仕様区分			=1		実線15cm			
B 排水性舗装の補正			=1		一般舗装			
C 未供用区間の補正			=1		供用区間			
D 塗布厚			=1		t=1.5mm			
E 塗料区分			=1		白			
F プライマー規格			=1		アスファルト舗装用			

施工単価表

施工 第0 -0087号内訳表

頁0-0116/0126

たて込み簡易土留工

[規格1] 15m1セット H=2.0m

[規格2]

[摘要]

15

m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建込工	15	m			施工 第0-0088号内訳表
掘削深 2.0m以下					
引抜工	15	m			施工 第0-0090号内訳表
掘削深 2.0m以下					
簡易土留賃料(H=2.0m) 15.0m×2.0m×2面=60.0m2	3.6	日			建設物価と積算資料の2誌平均単価
合 計	15	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0 -0088号内訳表

頁0-0117/0126

建込工

[規格1]		[規格2]掘削深 2.0m以下		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
バックホ運転			時間					
合 計		10	m					
単 位 当 り		1	m					
A バックホ規格 B 掘削深			=1 =2	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3) 掘削深 2.0m以下				

施工単価表

施工 第0 -0090号内訳表

頁0-0118/0126

引抜工

[規格1]		[規格2]掘削深 2.0m以下		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ハロータ付き			日					
合 計		10	m					
単 位 当 り		1	m					
A クレーン規格 B 掘削深			=1 =2	トラッククレーン4.9t吊 掘削深 2.0m以下				

施工単価表

施工 第0 -0091号内訳表

頁0-0119/0126

たて込み簡易土留工

[規格1] 15m1セット H=2.5m

[規格2]

[摘要]

15

m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建込工	15	m			施工 第0-0092号内訳表
掘削深 2.5m以下					
引抜工	15	m			施工 第0-0093号内訳表
掘削深 2.5m以下					
簡易土留賃料(H=2.0m) 15.0m × 2.5m × 2面=75.0m ²	4.0	日			建設物価と積算資料の2誌平均単価
合 計	15	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0 -0092号内訳表

頁0-0120/0126

建込工

[規格1]		[規格2]掘削深 2.5m以下		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
バックホ運転			時間					
合 計		10	m					
単 位 当 り		1	m					
A バックホ規格 B 掘削深			=1 =3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3) 掘削深 2.5m以下				

施工単価表

施工 第0 -0093号内訳表

頁0-0121/0126

引抜工

[規格1]		[規格2]掘削深 2.5m以下		[摘要]		10	m	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					
特殊作業員			人					
普通作業員			人					
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t吊 ハレタ付き			日					
合 計		10	m					
単 位 当 り		1	m					
A クレーン規格 B 掘削深			=1 =3	トラッククレーン4.9t吊 掘削深 2.5m以下				

頁0-0122/0126

式 当り

125/184

頁0-0123/0126

当り

126/184

頁0-0124/0126

当日

127/184

頁0-0125/0126

1	t	当日
---	---	----

128/184

頁0-0126/0126

1	t	当日
---	---	----

129/184

数量総括表										
名 称	形状・寸法	計算式						合 計	単 位	摘 要
本工事費										
管渠工										
管路土工										
機械掘削工	土留あり	VUφ200 30.0	Vφ150 102.4				=132.4	130	m³	
床掘り	小規模 土留なし	VUφ200 4.5	Vφ150 239.1				=243.6	240	m³	
機械投入埋戻工	土留あり 流用土	VUφ200 6.8	Vφ150 54.1				=60.9	60	m³	
埋戻工	土留なし W<1.0m 流用土	VUφ200	Vφ150 109.8				=109.8	100	m³	
機械投入埋戻工	土留あり 再生砕石	VUφ200 15.3	Vφ150 21.7				=37.0	30	m³	
埋戻工	土留なし W<1.0m 再生砕石	VUφ200 2.5	Vφ150 29.8				=32.3	30	m³	
残土運搬	土留あり 運搬距離 L=5.9km	132.4	— =60.9	/0.9			=64.7	60	m³	
残土運搬	土留なし 運搬距離 L=5.9km	243.6	— =109.8	/0.9			=121.6	120	m³	
残土処分	発生土						=1.0	1	式	186.3 m3
構造物取壊工（管路）										
舗装版切断	As舗装版 15cm以下	T=5.0cm 166.5	T=3.0cm 470.0				=636.5	630	m	
舗装版破碎積込	小規模	車道 73.9	歩道 199.1				=273.0	270	m2	
構造物撤去工										
コンクリート構造物取壊工	街渠・1号マンホール	0.48	+	0.50	+	0.09	+	0.25	=1.3	鉄蓋は岩野辺処理場へ 残置する
殻運搬処分										
As殻運搬	L=18.7km	車道 73.9	×	0.05	+	199.1	×	0.03	=9.7	
Co殻運搬	二次製品 L=18.7km						=1.3	1	m³	

数量総括表										
名 称	形状・寸法	計算式						合 計	単 位	摘 要
As殻処分							=9.7	1	式	
Co殻処分	二次製品						=1.3	1	式	
管布設工										
硬質塩化ビニル管布設工	VUφ200						=13.9	13	m	
硬質塩化ビニル管布設工	VUφ150						=295.5	295	m	
バップル設置工	VUφ150 半割管						=1.0	1	式	
管基礎工										
砂基礎設置	スクリーニングス	VUφ200 5.5	+	Vφ150 86.0			=91.5	91	m³	
下水道管標識シート	W 150mm×50m	VUφ200 13.9	+	Vφ150 295.5			=309.4	309	m	
下水道管明示テープ	W=50mm	VUφ200 13.9	+	Vφ150 295.5			=309.4	309	m	
非常用仕切弁設置										
非常用仕切弁設置工	仕切弁φ150（左開）						=1.0	1	基	
仕切弁室設置工	内径350 H=1900						=1.0	1	組	
マンホール工										
組立マンホール工										
1号組立マンホール	T-14 デザイン T-25 デザイン	M. 9 M. 2, M. 3, M. 10					=1.0	1	式	T=14 N=1箇所 T=25 N=3箇所
楕円組立マンホール	T-14 デザイン	M. 6					=1.0	1	式	1箇所
小型マンホール工										
起点落差形式 小型マンホール	T-14 デザイン H≦2.0m	M. 5, M. 7					=2.0	2	箇所	
起点落差形式 小型マンホール	T-25 デザイン H≦2.0m	M. 11					=1.0	1	箇所	

数量総括表

名 称	形状・寸法	計算式						合 計	単 位	摘 要
起点中間形式 小型マンホール	T-14 デザイン H≤2.0m	M. 4, M. 8					=2.0	2	箇所	
起点中間形式 小型マンホール	T-14 デザイン 2.0m<H≤3.5m	M. 1					=1.0	1	箇所	
街渠復旧工										
現場打街渠復旧	マウントアップ型 NGB515B						=3.0	3	m	
現場打街渠復旧	切り下げ型 NGB515K						=4.2	4	m	
仮復旧工										
舗装仮復旧工										
上層路盤（国道：車道）	粒調碎石 T=20cm						=69.5	69	m2	
上層路盤（市道：車道）	粒調碎石 T=12cm						=4.4	4	m2	
上層路盤（歩道部）	再生碎石 T=10cm						=199.1	199	m2	
表層（国道：車道）	再生密粒度As T=5.0cm						=69.5	69	m2	
表層（市道：車道）	再生密粒度As T=3.0cm						=4.4	4	m2	
表層（歩道部）	再生細粒度As T=3.0cm						=199.1	199	m2	
舗装本復旧工										
舗装土工										
掘削工	車道舗装本復旧 路盤鋤取り T=5.0cm	266.1	×	0.05			=13.3	10	m³	
残土運搬	運搬距離 L=5.9km	13.3					=13.3	10	m³	
残土処分	発生土						=1.0	1	式	13.3 m3
構造物取壊工										
舗装版切断	As舗装版 15cm以下	T=5.0cm 120.6	T=3.0cm 2.3				=122.9	120	m	

数量総括表										
名 称	形状・寸法	計算式						合 計	単 位	摘 要
舗装版破碎積込		356.9	550.2				=907.1	900	m2	
殻運搬処分										
As殻運搬	L=18.7km	356.9	× 0.05	+ 550.2	× 0.03		=34.4	34	m³	
As殻処分								1	式	
濁水処理工	L=69.0km	0.023*((166.5+120.6) *0.05+ (470.0+2.3) *0.03) *1.4					=0.92	1	式	
舗装本復旧工										
不陸整正	車道部 補充材有 M-30T=30mm						=356.9	356	m2	図面参照
不陸整正	歩道部 補充材有 RC-40T=30mm						=550.2	550	m2	図面参照
基層（車道部）	再生粗粒度As T=5.0cm						=266.1	266	m2	図面参照
表層（国道：車道）	再生密粒度As T=5.0cm						=266.1	266	m2	図面参照
表層（市道：車道）	再生密粒度As T=5.0cm						=90.8	90	m2	図面参照
表層（歩道部）	再生細粒度As T=3.0cm						=550.2	550	m2	図面参照
区画線工										
熔融式区画線	実線 白 W=15cm						=83.0	83	m	図面参照
密粒度As用カー舗装	樹脂系排水性トップコート						=20.0	20	m2	図面参照
仮設工										
管路土留工										
簡易たて込み土留	掘削深 H=2.0m以下		Vφ150 25.0	15.0m/スパン*2.0m*2面=60m2			=25.0	25	m	
簡易たて込み土留	掘削深 H=2.5m以下	VUφ200 12.3	Vφ150 24.0	15.0m/スパン*2.5m*2面=75m2			=36.3	36	m	
簡易たて込み土留整備費	15m1セット H=2.0m、2.5m	H=2.0m A=60m2								
		H=2.5m A=75m2					=1.0	1	式	

[illegible]

管 路 数 量 集 計 表 (1) (VU φ 200)

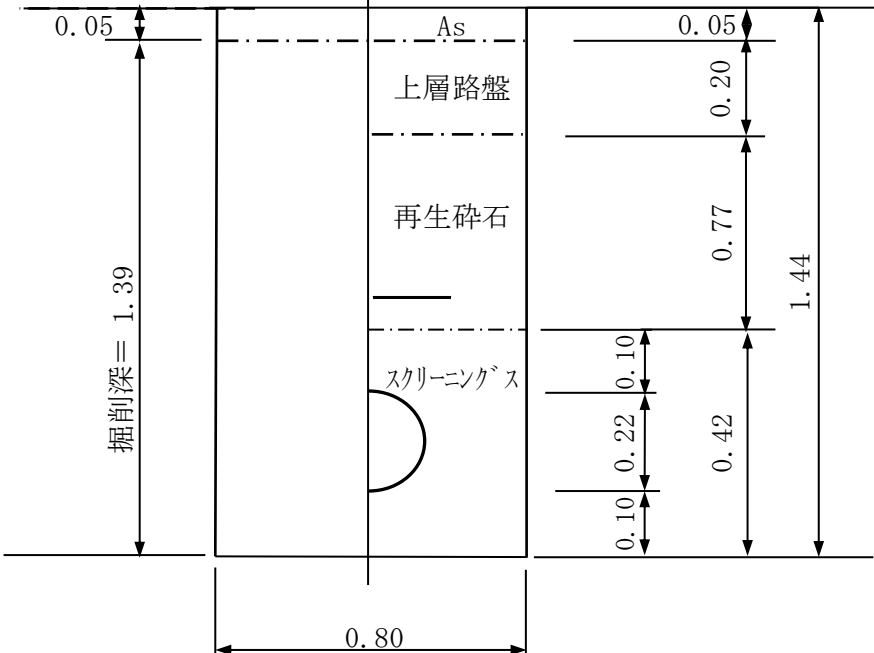
管番号	施工区分 区間距離	管渠延長	掘 削		埋戻 (発生土)		埋戻※国道車道 (再生碎石)		舗装版 切断		舗装版 破碎			土 留 工 (m)								塩ビ管		基礎工 スクリーニング ^ス	基面整正	
														素掘	簡易たて込み土留				掘削深				ゴム輪受 ロ 管			プレン ェント ^ス 直管
			H=2. 0	H=2. 5	H=3. 0	H=3. 5	1. 5以下	2. 0以下	2. 5以下	3. 0以下																
	m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m	m	m2	m2	m2										本	m	m3	m2
1 M. 1/M. 2	昼間 8. 30	7. 56	20. 91				15. 25		16. 60		9. 13					8. 30				8. 30		1	3. 56	3. 20		
/																										
2 M. 11/M. 3	昼間 4. 00	3. 26	9. 06		6. 78				8. 00			4. 40				4. 00				4. 00			3. 26	1. 39		
3 M. 2/M. C	昼間 4. 00	3. 10		4. 45				2. 46	8. 00		3. 20											3. 10	0. 92			
/																										
/																										
/																										
昼間 合 計	16. 30	13. 92	29. 97	4. 45	6. 78		15. 25	2. 46	32. 60		12. 33	4. 40				12. 30				12. 30		1	9. 92	5. 51		

管路情報

[illegible]

土量計算書 (VU φ 200)				車道 : 国道 土留H=2.5m	
路線No, 1					
1	区間距離	8.30 m	管体延長	7.56 m	
人孔番号		人孔種別			
M. 1	塩ビ (ST)				
M. 2	1号組立				
掘削 仮復旧 0.05 掘削深= 2.29 As 上層路盤 再生砕石 スクリーングラス 0.05 0.20 1.67 0.10 0.22 0.10 0.42 2.34 1.10					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 1.10 × 2.29 × 8.30			m³	20.91
砕石埋戻	V= 1.10 × 1.67 × 8.30			m³	15.25
スクリーングラス基礎	V= 1.10 × 0.42 × 7.56 - 管体控除 0.29			m³	3.20
管体控除	V= π / 4 × 0.22 ² × 7.56			m³	0.29
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 8.30			m	16.60
舗装版破碎	1.10 × 8.30			m²	9.13

土量計算書 (VU φ 200)				車道：市道 土留H=2.5m		
路線No, 2						
2		区間距離	4.00 m	管体延長	3.26 m	
人孔番号		人孔種別				
M. 11		塩ビ (落差)				
M. 3		1号組立				
掘削 仮復旧 0.05 掘削深 = 2.06 1.10 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス 0.05 0.10 1.54 0.10 0.22 0.10 0.42 2.11						
工 種	算 式				単位	数 量
機械掘削	V= 1.10 × 2.06 × 4.00				m³	9.06
発生土埋戻	V= 1.10 × 1.540 × 4.00				m³	6.78
スクリーニングス基礎	V= 1.10 × 0.42 × 3.26 - 管体控除 0.12				m³	1.39
管体控除	V= π/4× 0.22 ² × 3.26				m³	0.12
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 4.00				m	8.00
舗装版破碎	1.10 × 4.00				m²	4.40

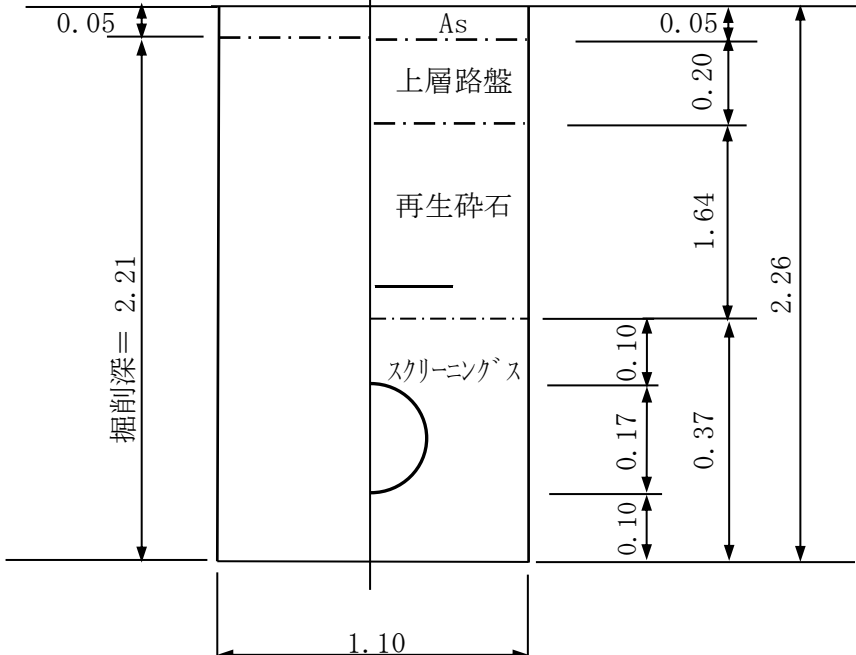
土量計算書 (VU φ 200)				車道 : 国道	
路線No, 3					
3	区間距離	4.00 m	管体延長	3.10 m	
人孔番号		人孔種別			
M. 2	1号組立				
M. C	1号組立				
掘削 仮復旧 					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.39 × 4.00			m³	4.45
碎石埋戻	V= 0.80 × 0.770 × 4.00			m³	2.46
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.42 × 3.10 - 管体控除 0.12			m³	0.92
管体控除	V= π / 4 × 0.22² × 3.10			m³	0.12
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 4.00			m	8.00
舗装版破碎	0.80 × 4.00			m²	3.20

管 路 数 量 集 計 表 (2) (VU φ 150)

管番号		施工区分 区間距離	管渠延長	掘 削		埋戻 (発生土)		埋戻※国道車道 (再生砕石)		舗装版 切断		舗装版 破碎			土 留 工 (m)								塩ビ管		基礎工 スクリーニングス	基面整正		
															簡易たて込み土留				掘削深				ゴム輪受 口 管	フ レ ー ン エ ン ト 直 管				
				H=2. 0	H=2. 5	H=3. 0	H=3. 5	1. 5以下	2. 0以下	2. 5以下	3. 0以下																	
		m	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3		m	m2	m2	m2											本	m	m3	m2
1	1 M. 2/M. 3	昼間 12. 00	11. 10	29. 17				21. 65		24. 00		13. 20				12. 00					12. 00			2	3. 10	4. 27		
2	1 M. 3/M. 4	昼間 37. 00	36. 37	73. 26		54. 13				74. 00				40. 70		25. 00	12. 00				25. 00	12. 00		9	0. 37	13. 97		
3	1 M. 4/M. 5	昼間 40. 00	39. 52		36. 80		21. 76			80. 00				32. 00										9	3. 52	10. 80		
4	1 M. 5/M. 6	昼間 45. 00	44. 26		44. 64		27. 72			90. 00				36. 00										11	0. 26	12. 10		
5	1 M. 6/M. 7	昼間 30. 00	29. 36		27. 84		16. 56			60. 00				24. 00										7	1. 36	8. 02		
6	1 M. 7/M. 8	昼間 45. 00	44. 53		44. 28		27. 36			90. 00				36. 00										11	0. 53	12. 17		
7	1 M. 8/M. 9	昼間 38. 00	37. 26		30. 70		16. 42			76. 00				30. 40										9	1. 26	10. 18		
8	1 M. 9/M. 10	昼間 7. 00	6. 10		6. 89				3. 70	14. 00		5. 60												1	2. 10	1. 67		
9	1 M. 10/M. A	昼間 47. 94	47. 04		47. 94				26. 08	95. 88		38. 35												11	3. 04	12. 85		
	/																											
	/																											
	/																											
	/																											
	/																											
	/																											
	/																											
	昼間 合 計	301. 94	295. 54	102. 43	239. 09	54. 13	109. 82	21. 65	29. 78	133. 88	470. 00	57. 15		199. 10		25. 00	24. 00				25. 00	24. 00		70	15. 54	86. 03		

管路情報

[illegible]

土量計算書 (VU φ 150)				車道：国道		土留H=2.5m	
路線No,							
1		区間距離	12.00 m	管体延長	11.10 m		
人孔番号		人孔種別					
M. 2		1号組立					
M. 3		1号組立					
		掘削		仮復旧			
							
工 種	算 式					単位	数 量
機械掘削	V= 1.10 × 2.21 × 12.00					m³	29.17
碎石埋戻	V= 1.10 × 1.64 × 12.00					m³	21.65
スクリーニングス基礎	V= 1.10 × 0.37 × 11.10 - 管体控除 0.25					m³	4.27
管体控除	V= π /4× 0.17 ² × 11.10					m³	0.25
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 12.00					m	24.00
舗装版破碎	1.10 × 12.00					m²	13.20

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部		土留H=2.0・ 2.5m	
路線No, 1							
2		区間距離	37.00 m	管体延長	36.37 m		
人孔番号		人孔種別					
M. 3		1号組立					
M. 4		塩ビ (ST)					
掘削 仮復旧 0.03 掘削深= 1.80 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス 1.10 0.03 0.10 1.33 0.10 0.17 0.10 0.37 1.83							
工 種	算 式					単位	数 量
機械掘削	V= 1.10 × 1.80 × 37.00					m³	73.26
発生土埋戻	V= 1.10 × 1.33 × 37.00					m³	54.13
スクリーニングス基礎	V= 1.10 × 0.37 × 36.37 - 0.83					m³	13.97
管体控除	V= π/4× 0.17 ² × 36.37					m³	0.83
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 37.00					m	74.00
舗装版破碎	1.10 × 37.00					m²	40.70

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部	
路線No, 1					
3	区間距離	40.00 m	管体延長	39.52 m	
人孔番号	人孔種別				
M. 4	塩ビ (ST)				
M. 5	塩ビ (落差)				
掘削 仮復旧 0.03 掘削深 = 1.15 0.80 0.03 0.10 0.68 1.18 0.10 0.17 0.10 0.37					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.15 × 40.00			m³	36.80
発生土埋戻	V= 0.80 × 0.68 × 40.00			m³	21.76
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 39.52 - 管体控除 0.90			m³	10.80
管体控除	V= π/4× 0.17 ² × 39.52			m³	0.90
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 40.00			m	80.00
舗装版破碎	0.80 × 40.00			m²	32.00

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部	
路線No, 1					
4	区間距離	45.00 m	管体延長	44.26 m	
人孔番号		人孔種別			
M. 5	塩ビ (落差)				
M. 6	楕円組立				
掘削 仮復旧 0.03 掘削深 = 1.24 0.80 0.03 0.10 0.77 1.27 0.10 0.17 0.37 0.10 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.24 × 45.00			m³	44.64
発生土埋戻	V= 0.80 × 0.77 × 45.00			m³	27.72
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 44.26 - 管体控除 1.00			m³	12.10
管体控除	V= π /4× 0.17 ² × 44.26			m³	1.00
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 45.00			m	90.00
舗装版破碎	0.80 × 45.00			m²	36.00

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部		
路線No, 1						
5		区間距離	30.00 m	管体延長	29.36 m	
人孔番号		人孔種別				
M. 6		楕円組立				
M. 7		塩ビ (落差)				
掘削 仮復旧 0.03 掘削深 = 1.16 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス 0.03 0.10 0.69 0.10 0.17 0.10 0.37 1.19 0.80						
工 種	算 式				単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.16 × 30.00				m³	27.84
発生土埋戻	V= 0.80 × 0.69 × 30.00				m³	16.56
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 29.36 - 管体控除 0.670				m³	8.02
管体控除	V= π / 4 × 0.17 ² × 29.36				m³	0.67
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 30.00				m	60.00
舗装版破碎	0.80 × 30.00				m²	24.00

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部	
路線No, 1					
6	区間距離	45.00 m	管体延長	44.53 m	
人孔番号		人孔種別			
M. 7	塩ビ (落差)				
M. 8	塩ビ (ST)				
掘削 仮復旧 0.03 掘削深 = 1.23 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス 0.80 0.03 0.10 0.76 0.10 0.17 0.10 0.37 1.26					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.23 × 45.00			m³	44.28
発生土埋戻	V= 0.80 × 0.76 × 45.00			m³	27.36
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 44.53 - 1.01			m³	12.17
管体控除	V= π /4× 0.17 ² × 44.53			m³	1.01
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 45.00			m	90.00
舗装版破碎	0.80 × 45.00			m²	36.00

土量計算書 (VU φ 150)				歩道部		
路線No, 1						
7		区間距離	38.00 m	管体延長	37.26 m	
人孔番号		人孔種別				
M. 8		塩ビ (ST)				
M. 9		1号組立				
掘削 仮復旧 0.03 掘削深= 1.01 0.80 As 上層路盤 流用土 スクリーニングス 0.03 0.10 0.54 1.04 0.10 0.17 0.10 0.37						
工 種	算 式				単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.01 × 38.00				m ³	30.70
発生土埋戻	V= 0.80 × 0.54 × 38.00				m ³	16.42
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 37.26 - 0.85 ^{管体控除}				m ³	10.18
管体控除	V= π /4× 0.17 ² × 37.26				m ³	0.85
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 38.00				m	76.00
舗装版破碎	0.80 × 38.00				m ²	30.40

土量計算書 (VU φ 150)				車道：国道	
路線No, 1					
9		区間距離	47.94 m	管体延長	47.04 m
人孔番号		人孔種別			
M. 10		1号組立			
M. A		1号組立			
掘削 仮復旧 0.05 掘削深 = 1.25 0.80 As 上層路盤 再生砕石 スクリーニングス 0.05 0.20 0.68 0.10 0.17 0.10 0.37 1.30					
工 種	算 式			単位	数 量
機械掘削	V= 0.80 × 1.25 × 47.94			m ³	47.94
砕石埋戻	V= 0.80 × 0.680 × 47.94			m ³	26.08
スクリーニングス基礎	V= 0.80 × 0.37 × 47.04 - 管体控除 1.07			m ³	12.85
管体控除	V= π / 4 × 0.17 ² × 47.04			m ³	1.07
舗装版切断	1.00 × 2.0 × 47.94			m	95.88
舗装版破碎	0.80 × 47.94			m ²	38.35

【管路】

舗装取壊・復旧工 数量表

【管路】舗装版取壊工 数量集計表

工種	規格	数量						計
		VUφ200			VUφ150			
		車道 国道	車道 市道	歩道	車道 国道	車道 市道	歩道	
舗装版切断工	T=5.0cm	32.6			133.9			166.5 m
	T=3.0cm						470.0	470.0 m
As舗装版破碎	T=5.0cm	12.3	4.4		57.2			73.9 m2
	T=3.0cm						199.1	199.1 m2

コンクリート構造物取壊・復旧工 数量表

街渠撤去工

工 種	規格	延 長					計
街渠撤去工	マウントアップ	1.8	1.2				3.0 m
街渠撤去工	切下	1.8	1.2	1.2			4.2 m

規格	体積/m	算 式				Co殻
マウントアップ	0.16 m ³ /m	0.16	×	3.0	=	0.48 m ³
切下	0.12 m ³ /m	0.12	×	4.2	=	0.50 m ³

既設マンホール撤去工（路線②：M-B）

工種	規格	箇所数					計
1号マンホール撤去工	H=1.24m	1.0					1.0 箇所

内訳（詳細）

種類	規格	参考重量(kg)	算 式			Co殻
斜壁	600*900*300	220	220	/	2,350	= 0.09 m ³
底版一体型管取付壁	600*900*600	579	579	/	2,350	= 0.25 m ³

非常用仕切弁

名称	規格		数	量	単位	摘 要
非常用仕切弁設置工						
材料費						
	左開					
下水道用仕切弁	FCD φ 150	= 1.0		1	基	
メカニカル短管1号	ショート φ 150	= 2.0		2	個	
フランジ継手材	7.5K φ 150	= 2.0		2	組	
労務費						
仕切弁設置工	φ 150	= 1.0		1	基	
メカニカル継手工	φ 150	= 2.0		2	口	
フランジ継手工	7.5K φ 150	= 2.0		2	口	
非常用仕切弁室設置工						
材料費						
	φ 350					
仕切弁室	H=1.9m	= 1.0		1	組	
労務費						
	φ 350					
仕切弁室設置工	H=1.9m	= 1.0		1	箇所	

バッフル設置工

[illegible]

1号組立人孔集計表									
名 称	形状・寸法	単 位	計算式					合 計	摘 要
デザインマンホール	宍粟市デザイン T-25 φ 600	組	M. 2, M. 3, M. 10				=3.0	3	
デザインマンホール	宍粟市デザイン T-14 φ 600	組	M. 9				=1.0	1	
転落防止はしご		組					=4.0	4	
調整金具		組					=4.0	4	
無収縮モルタル		袋					=5.0	5	
調整リング	φ 600×50mm	個					=3.0	3	
	φ 600×100mm	個					=1.0	1	
	φ 600×150mm	個					=2.0	2	
1号斜壁	φ 600×φ 900×300mm	個					=2.0	2	
	φ 600×φ 900×600mm	個					=2.0	2	
1号底付	φ 900×700mm	個					=1.0	1	
	φ 900×900mm	個					=1.0	1	
	φ 900×1300mm	個					=1.0	1	
	φ 900×1600mm	個					=1.0	1	
くら型マンホール接手	φ 150用	本					=8.0	8	
	φ 200用	本					=3.0	3	
削孔	φ 200用	箇所					=3.0	3	
	φ 150用	箇所					=4.0	4	
底部工	インバートコンクリート 基礎砕石T=20cm	箇所					=4.0	4	
組立マンホール設置工	H≦3.0m	箇所					=4.0	4	

1号組立人孔数量表

路線番号	人 孔 番 号	人 孔 深	掘 削 深	流入管	流出管	工 種	形状寸法	算 式	数 量	単位
		m	m	mm	mm					
1	M. 2	2. 271	2. 671	VU φ 200	VU φ 150	箇所数			4	箇所
1	M. 3	2. 049	2. 449	VU φ 150	VU φ 150	平均マンホール深		6. 682 ÷ 4	1. 671	m
1	M. 9	1. 164	1. 564	VU φ 150	VU φ 150	人孔据付工	H≦3. 0m		4	箇所
1	M. 10	1. 198	1. 598	VU φ 150	VU φ 150		3. 0m<H≦4. 0m			箇所
1	M. A	2. 486	2. 886	VU φ 150	VU φ 150		4. 0m<H≦5. 0m			箇所
1	M. C	2. 486	2. 886	VU φ 200	VU φ 200	底部工 φ 150	D= φ 150		4	箇所
							インバートコンクリート	$V = \pi / 4 \times 0.90^2 \times (0.10 + D/2) - \pi / 4 \times D^2 \div 2 \times 0.90$ 0. 10 m ³ /箇所		
							インバート仕上げ	$A = \pi / 4 \times 0.90^2 - D \times 0.90 + (\pi \times D \div 2) \times 0.90$ 0. 71 m ² /箇所		
							t =0. 20m 基礎碎石	$\pi / 4 \times 1.10^2 = 0.95$ 0. 95 m ² /箇所		
						削孔工	VU φ 150	新設 3 + 既設 1	4	箇所
							VU φ 200	新設 2 + 既設 1	3	箇所
						無収縮 モルタル		5	5	袋
箇所 計	新設 4	6. 682								

楕円組立人孔集計表									
名 称	形状・寸法	単 位	計算式					合 計	摘 要
デザインマンホール	宍粟市デザイン T-14 φ 600	組	M6				=1.0	1	
転落防止はしご		組					=1.0	1	
調整金具		組					=1.0	1	
無収縮モルタル		袋					=1.0	1	
調整リング	600×50mm	個					=1.0	1	
楕円斜壁	600×600×450mm	個					=1.0	1	
楕円底付	600×900×670mm	個					=1.0	1	
くら型マンホール接手	φ 150用	本					=2.0	2	
削孔	φ 150用	箇所					=1.0	1	
底部工	インバートコンクリート 基礎碎石T=20cm	箇所					=1.0	1	
組立マンホール設置工	H≤2.0m	箇所					=1.0	1	

橢円組立人孔数量表

[illegible]

楕円組立人孔 数量計算表

[illegible]

小型マンホール集計表									
名 称	形状・寸法	計算式					合 計	単 位	摘 要
小型マンホール	宍粟市デザイン φ 300用 T-14								
基点落差形式	H≦2.0m	M5, M7				=2.0	2	箇所	
小型マンホール	宍粟市デザイン φ 300用 T-25								
基点落差形式	H≦2.0m	M11				=1.0	1	箇所	
小型マンホール	宍粟市デザイン φ 300用 T-14								
起点および中間形式	H≦2.0m	M4, M8				=2.0	2	箇所	
	2.0m<H≦3.5m	M1				=1.0	1	箇所	

小型マンホール工 数量表 「塩ビ製（起点・落差用）」

路線番号	人 孔 番 号	人 孔 深	掘 削 深	流入管	流出管	工 種	形状寸法	算 式	数 量	単位
		m	m	mm	mm					
1	M. 5	1.220	1.330	VU φ 150	VU φ 150	箇所数			3	箇所
1	M. 7	1.279	1.390	VU φ 150	VU φ 150	平均マンホール深		4.454 ÷ 3	1.485	m
						人孔据付工	H ≤ 2.0m		3	箇所
2	M. 11	1.955	2.070	VU φ 200	VU φ 200		2.0m < H ≤ 3.5m			箇所
						立 管	プレーンエンド直管 φ 300 L=4.00m	1.004 ÷ 4	0.3	本
計	3	4.454								

小型マンホール工数量表 「塩ビ製（曲点・合流点）」

路線番号	人 孔 番 号	人 孔 深	掘 削 深	流入管	流出管	工 種	形状寸法	算 式	数 量	単位
		m	m	mm	mm					
1	M. 1	2.201	2.310	VU φ 200	VU φ 200	箇所数			3	箇所
1	M. 4	1.384	1.490	VU φ 150	VU φ 150	平均マンホール深		4.607 ÷ 3 箇所	1.536	m
1	M. 8	1.022	1.130	VU φ 150	VU φ 150	人孔据付工	H ≤ 2.0m		2	箇所
							2.0m < H ≤ 3.5m		1	箇所
						立 管	プレーンエンド直管 φ 300 L=4.00m	3.467 ÷ 4 m	0.9	本
計	3	4.607								

街渠復旧工

工種	規格	延 長					計
現場打街渠工	マウントアップ	1.8	1.2				3.0 m2
	切下	1.8	1.2	1.2			4.2 m2

【舗装仮復旧】 舗装仮復旧工 数量集計表

工種	規格	面 積						計
		VUφ200			VUφ150			
		車道 国道	車道 市道	歩道	車道 国道	車道 市道	歩道	
上層路盤（車道：県道）	粒調碎石 t=22.0cm	12.3			57.2			69.5 m2
上層路盤（車道：市道）	粒調碎石 t=12.0cm		4.4					4.4 m2
上層路盤（歩道部）	再生碎石 平均t=12.0cm						199.1	199.1 m2
表層工（車道：県道）	t=5.0cm	12.3			57.2			69.5 m2
表層工（車道：市道）	t=3.0cm		4.4					4.4 m2
表層工（歩道部）	t=3.0cm						199.1	199.1 m2

【舗装本復旧】 舗装取壊・復旧工 数量表

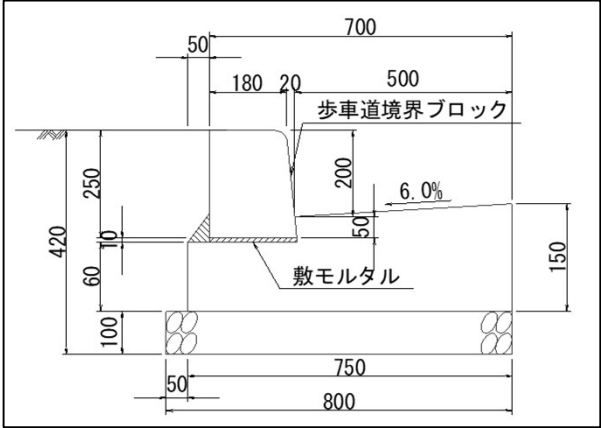
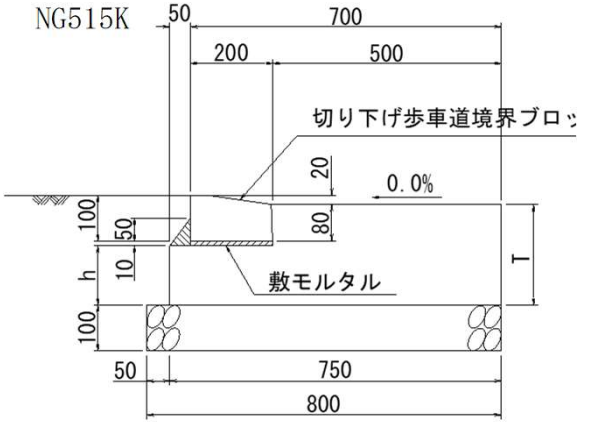
図面より

舗装版取壊工 数量集計表

工種	規格	数量					計
		車道 国道	車道 市道	歩道			
舗装版切断工	車道 T=5.0cm	87.4	33.2				120.6 m2
	歩道 T=3.0cm			2.3			2.3 m2
As舗装版破碎	車道 T=5.0cm	266.1	90.8				356.9 m2
	歩道 T=3.0cm			550.2			550.2 m2
路盤鋤取り	県道車道路盤鋤取 T=5.0cm	266.1					266.1 m2

舗装本復旧工

工種	規格	面 積					計
		車道 国道	車道 市道	歩道			
不陸整正（車道）	粒調碎石 補足材T=3.0cm	266.1	90.8				356.9 m2
不陸整正（歩道）	再生碎石 補足材T=3.0cm			550.2			550.2 m2
基層（車道）	粗粒度As T=5.0cm	266.1					266.1 m2
表層（県道：車道）	密粒度As T=5.0cm	266.1					266.1 m2
表層（市道：車道）	密粒度As T=5.0cm		90.8				90.8 m2
表層（歩道）	細粒度As T=3.0cm			550.2			550.2 m3

単位数量計算書		街渠撤去工 10.0m当り			
算式根拠となる構造図		名 称	規格・形状	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り) 単位
NG515B 		構造物取壊	無筋構造物	小型構造物図集より NG515B $(0.066/0.6/2.35 \times 16.5) + 0.82$	1.6 m3
		殻運搬	Con(無筋)	1.6	1.6 m3
単位数量計算書		街渠撤去工			
算式根拠となる構造図		名 称	規格・形状	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り) 単位
NG515K 		構造物取壊	無筋構造物	小型構造物図集より NG515K $(0.026/0.6/2.35 \times 16.5) + 0.90$	1.2 m3
		殻運搬	Con(無筋)	1.2	1.2 m3

積算参考資料

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。

注)本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

名称	規格等	単位	採用単価(円)
メカフランジ短管	φ 150	個	54,520
VU半割パイプ	φ 150×1.3m	個	9,450
厚サドル	ステンレス製 φ 150用	個	4,380
仕切弁室	内径350 H=1900	組	183,300
小口径マンホール保護鉄蓋	φ 300用 T-25、鍵付・台座込	組	81,500
小口径マンホール保護鉄蓋	φ 300用 T-14、鍵付・台座込	組	76,200

特記仕様書

工 事 名 千種中央処理区下水道施設統廃合工事（岩野辺）

工事場所 宍粟市 千種町 岩野辺 地内

工 期 令和9年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶（報告）すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第4条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. （工法変更等への対応）
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床掘法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
現場起終点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分に当たっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法

程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊	岸本建材運輸	18.7 km	宍粟市一宮町 東市場	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による
アスファルト・ コンクリート塊	岸本建材運輸	18.7 km	宍粟市一宮町 東市場		

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

5. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

- 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。
- 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。
- 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成15年3月17日兵庫県条例第23号）第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了

報告を監督員に提出すること。(工作物等解体工事は請負代金 500 万円以上、建築物解体工事は延床面積 80 m²以上)

第 8 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1. 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

工法 区分	濁水が生じる工法 (湿式)	濁水が生じない工法 (空冷式等)
排出形態	濁水	粉体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥＋廃アルカリ混合物」 ※乾燥させた場合も同様	「がれき類」 ※政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと

2. 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法 (湿式) を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥＋廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

＜収集方法 (例) ＞

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械 (バキューム式) による収集
- ・工業用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集等

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5 以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3. 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法 (空冷式等) を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4. 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量 (マニフェストで確認) に応じて設計変更を行う。

- ① 濁水量 0.92 t ※県登録施設以外で処分する場合、金額表示が必要
 ② 運搬費 普通トラック (2 t) 運搬
 ③ 処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」 (泥水)	赤穂リサイクルセンター	69.0 km	兵庫県赤穂市 加里屋 1250-1	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価	監督員の指示による

				格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること ※県登録施設以外の場合は、施設の受入条件等を記載する。	
--	--	--	--	--	--

上表については、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設もしくは産業廃棄物処分場としての許可を有する施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設の抹消などにより受入困難となった場合や、受注者が選定した施設が県登録施設または上表の施設以外の施設で、処理費が当初設計より安価となる場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第9条 建設発生土及び採取土

1. 建設発生土（土砂）の残土処分は、下記施設で運搬距離 5.9 kmの指定処分とする。なお、工事間等の流用箇所があれば処分地及び運搬距離等は、設計変更の対象とする。

2. 建設発生土を県登録施設へ搬出する場合

（建設発生土の搬出先）

建設発生土の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
建設発生土	清水工業	5.9km	宍粟市千種町 岩野辺	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

3. 処分地における押土等処理方法は監督員の指示を得ること。

検収方法としては、受注者は伝票または出来形展開図（処分前、処分中、処分後の写真を含む）を提出すること。

4. 土質調査の結果等により流用が不可能と考えられる場合は、監督員と協議の上、適正に処分を行うものとする。

第10条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。

2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。

3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。

明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。

4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。

5. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを

制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

6. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

第11条 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
2. 受注者は、現場管理費の補正を希望する場合は、施工計画書に本試行工事の工事期間中における真夏日の計測方法及び観測箇所を明示すること。
3. 真夏日とは日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。なお、WBGTを用いて真夏日を計測する場合は、WBGTが25℃以上となる日数を真夏日とみなす。
4. 工期とは、工事着手日から工事完成日までの日数をいう。ただし、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
5. 対象期間内の真夏日率の算出の考え方は、次のとおりとする。
(真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期)
6. 受注者より提出される計測結果資料により真夏日率を確認後、現場管理費率を補正し、請負契約書第24条の規定に基づき請負代金額を変更する。

第12条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。
 - ・特定外来生物の種類：
アルゼンテナ・フィロセロデス(カエツルゲイトリ)、ヒステリア・ストラティス(ボタンウキサ)、アゾル・クリスタ、コレオプシス・ラングラー(オキクヅキ)、ギムノコリス・スピラントデス(ミズヒマリ)、ルトベキア・ラキエタ(オハゴンソウ)、セネオ・マダガスカリエンシス(ナトサギク)、スキュオス・アンブラトウス(アチウリ)、ミリオコルム・アクアティクム(オオサモ)、ルトウキア・グランディフロラ(オハナミズキンバイ等)、ウエロコ・アカガリス・アクアティカ(オカザシヤ)、の植物11種
(詳細については、下記の環境省ホームページ
URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>を参照)
2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第13条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第14条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。
(データのみの提出はしないこと)

第15条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。

3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第16条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。

2. (コンクリート管理)

- ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。(請負必携 21 参照)
- ② コンクリートの強度管理については、標準養生の他、現場空中養生も行うこととする。

3. (再生切込砕石)

- ① 本工事に使用する砕石は、再生切込砕石 (0~30、0~40 mm) とする。
なお、生産業者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は監督員と協議し、その指示に従うこと。
- ② 下層路盤材・土木構造物の基礎砕石及び裏込砕石に使用する材料は、下記の品質規格を満足するものとし、受注者は施工にあたって事前に使用する再生切込砕石生産者及び最近の試験結果を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。
また、アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比 60%以下とする。ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを 30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。
なお、生産者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議のうえ、新材切込砕石に変更することとし、設計変更の対象とする。
再生切込砕石の品質基準は以下の通りとする。

修正CBR (%)	P I (塑性指数)	すりへり減量	粒 度
30以上	6以下	50%以下	再生切込砕石の粒度範囲に入ること

4. (セメントコンクリート製品)

- ① 本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。なお、「小型構造物標準図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。
- ② 品質確認は、「セメントコンクリート二次製品の取組要領」(兵庫県県土整備部)〔平成27年1月〕に基づき実施する。

5. (コンクリート二次製品)

- ① 本工事において、下記の製品を使用する場合には「下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品使用促進要領」(以下「要領」という。)に基づき認定された下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品(以下「認定製品」という。)の使用を原則とする。
なお、認定製品が調達できない等、やむを得ない場合については、通常のコンクリート二次製品の使用を認めることとするが、事前に発注者の了解を得るものとする。ただし、設計変更の対象としない。

○対象とする製品

I. 境界ブロック (JISA5371: 推奨仕様 B-2)

イ: 片面歩車道境界ブロック、ロ: 両面歩車道境界ブロック (兵庫県型駒止ブロック)、
ハ: 地先境界ブロック

II. U型側溝1種 (トラフ) (JISA5372: 推奨仕様 E-1)

III. 上ぶた式U型側溝 (JISA5372: 推奨仕様 E-2)

イ: 1種 (トラフ)、ロ: 2種 (トラフ)、ハ: 1種 (蓋)、ニ: 2種 (蓋)

IV. 落ちぶた式U型側溝 (JISA5372: 推奨仕様 E-3)

イ: 1種 (JIS 側溝)、ロ: 3種 (JIS 側溝)、ハ: 1種 (蓋)、ニ: 3種 (蓋)

V. プレキャストU型側溝

イ: PU100型 (要領 別図 1-1)、ロ: PU200型 (要領 別図 1-2)、
ハ: 側溝蓋 (NC2 系) (要領 別図 1-3)

VI. プレキャスト街渠

イ: PG(F)型 (要領 別図 1-4)、ロ: PGU(F)型 (要領 別図 1-5)

- ② 受注者は、認定製品の使用にあたっては、要領第 10 条第 1 項に基づき兵庫県土木部長（県土整備部長）が発行した認定書を工事用材料使用承諾願に含め監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。
- ③ 認定製品は、JIS 認証製品と同等の取り扱いとするため、受注者は、土木工事共通仕様書によるほかセメントコンクリート二次製品取扱要領に基づき品質確認等（材料承諾を含む）を行うものとする。
- ④ 受注者は、現地納品された製品について、要領第 12 条第 1 項によるスラグマークの表示を確認するものとする。

6. （瀝青材料）

- ① 本工事における再生密粒度アスファルト混合物（TOP13）は下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物（以下「下水汚泥スラグアスファルト混合物」という。）の使用を原則とする。
ただし、材料の調達が困難な場合は通常の再生密粒度アスファルト混合物の使用を妨げない。
なお、この場合、事前に監督員の了解を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。
- ② 下水汚泥スラグアスファルト混合物における材料の試験成績表や品質証明書の提出、配合設計及び試験練り等については、土木工事共通仕様書によるものとする。
- ③ 下水汚泥溶融スラグ及び下水汚泥スラグアスファルト混合物の品質管理は「下水汚泥溶融スラグの品質基準」、「下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物の品質基準」を満たすものとする。
- ④ 下水汚泥スラグアスファルト混合物には揖保川浄化センター（兵庫西流域下水汚泥広域処理場）で製造された溶融スラグを使用するものとする。
- ⑤ 受注者は、アスファルト混合物事前審査委員会の事前審査で認定した加熱アスファルト混合物を使用する場合は、事前に認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出できるものとする。この場合、「土木工事共通仕様書」によらず、アスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明書・試験成績表の提出及び配合設計・試験練りを省略することができる。
- ⑥ 事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」は以下のとおりとする。

⑦

工 種	種 別	試験区分	試 験 項 目	試 験 基 準
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材 料	必 須	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	事前審査による認定書の提出
		その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	
	プ ラ ン ト	必 須	配合試験	土木施工管理基準「品質管理基準」に基づきプラントの自主管理による（注 1）
			混合物のアスファルト量抽出	
			混合物の粒度分析試験 温度測定（混合物）	
			基準密度の決定	事前審査による認定書の提出

（注 1） 監督員の指示があった場合は、試験結果一覧表を提出するものとする。

第 17 条 一般施工

1. （準備工）

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

2. （掘削工）

- ① 受注者は、掘削中に設計図書に記載のない場所で土質の変化が現れた場合、写真等で記録を撮ると同時に監督員と協議するものとする。また、完成図書として土質変化地点を記載した図面等を提出するものとする。
- ② 受注者は掘削の施工中において、地山の挙動を監視しなければならない。なお、自然崩壊・地すべり等が生じた場合、あるいは生ずる恐れがある場合は処置方法を監督員と協議しなければならない。緊急やむを得ない場合は応急措置をとった後、監督員に報告しなければならない。

3. （とりこわし工）

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

4. (街渠工)

一般部と乗入部があるが、施工に先立ち隣接する地権者と立会を行い、乗入部施工位置を確認し、監督員の了解を得てから施工するものとする。

5. (舗装打換工)

① 横断測量の間隔は20mとする。

② 交通開放する場合、施工に伴う段差は交通に支障のないよう縦断・横断方向4%以下の勾配ですりつけ舗装を施工し、危険防止と交通安全を計らなければならない。

③ 区画線設置は、表層完了後すみやかに施工しなければならない。

なお、本区画線設置までの期間については、監督員と協議し仮区画線を設置し、交通の安全を計らなければならない。

6. (工事用道路工)

本工事の施工にあたり、工事道路等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第18条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。)

第19条 工事標示板等

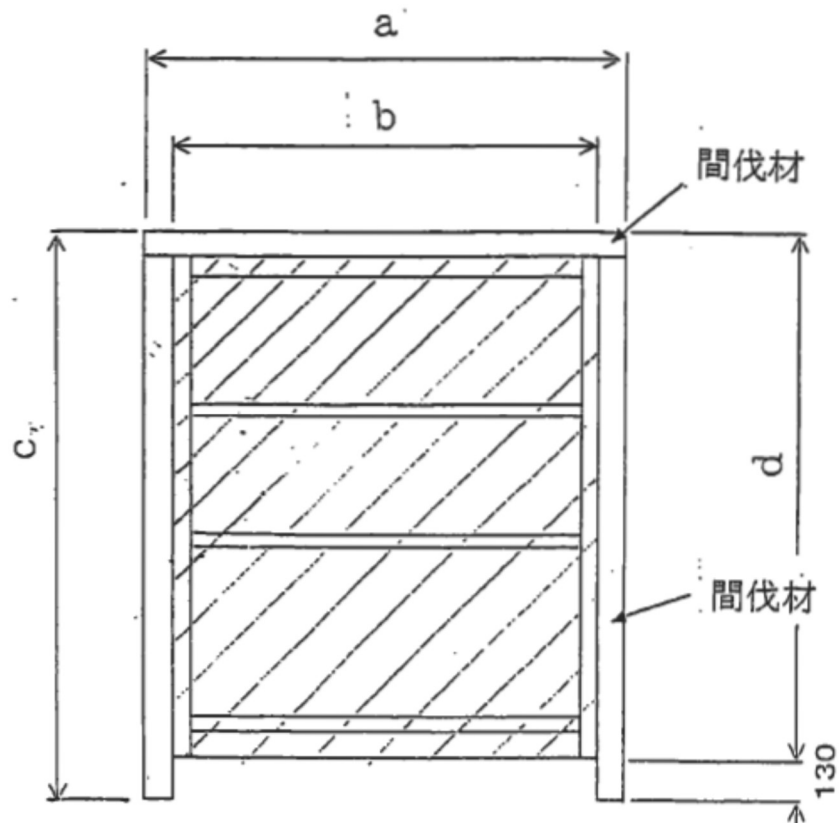
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第20条 その他施工関係

1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 当該工事によるマンホール等の高さ調整について、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監督員へ報告し、監督員及び占有者の了承を得た後、高さ調整を行うこととする。なお、起工測量に基づき調整箇所数等に変更が生じることがある。
9. 上記によらないマンホール等の高さ調整については、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監督員へ報告し、発注者と占有者で協議し、占有者にて調整を行う。
10. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

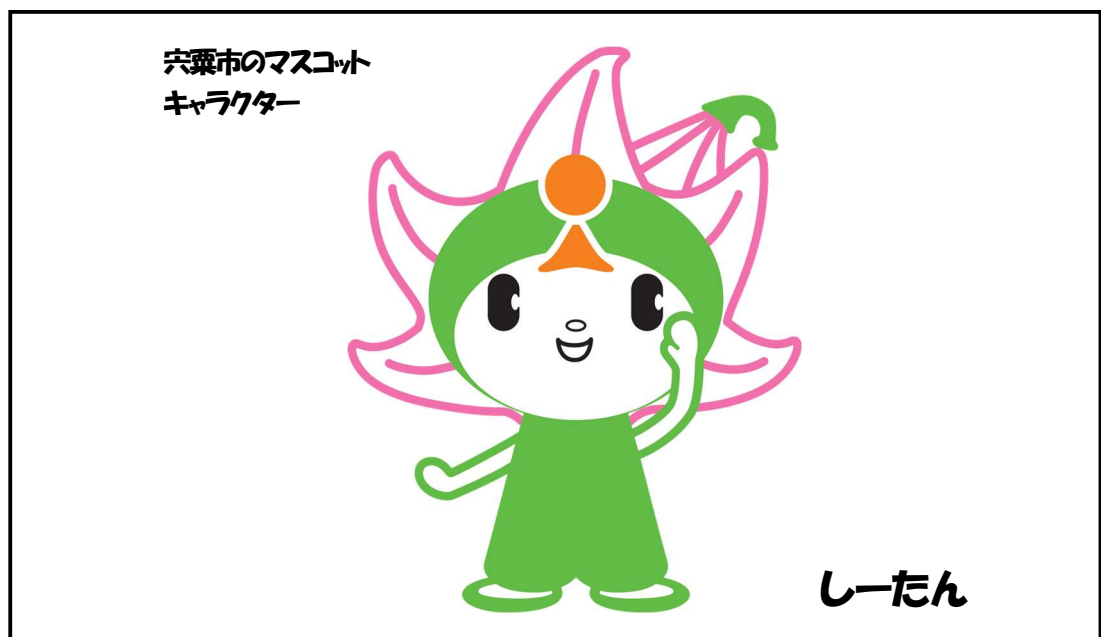
事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

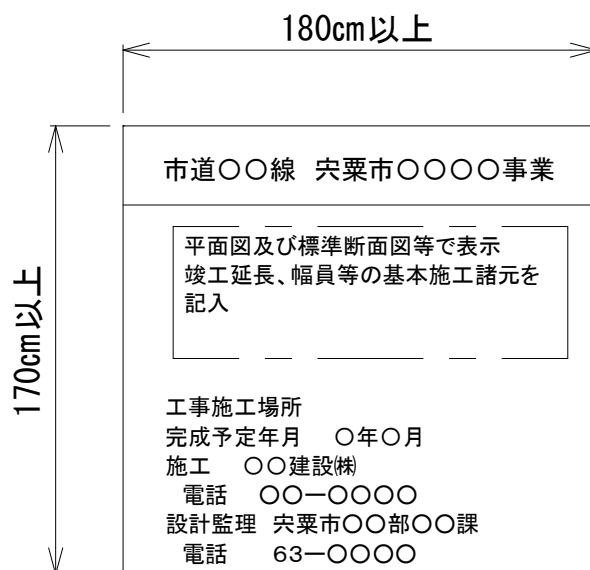


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

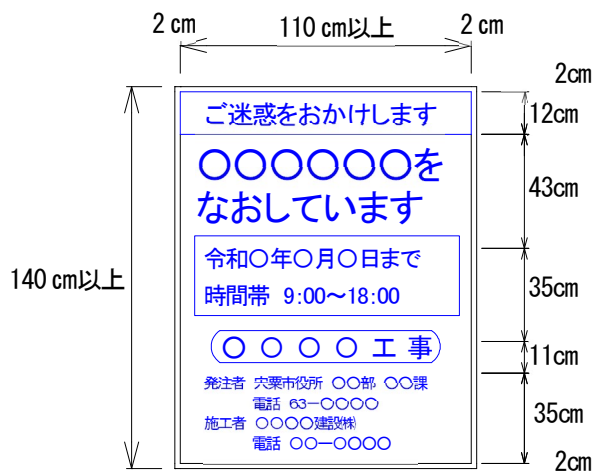
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

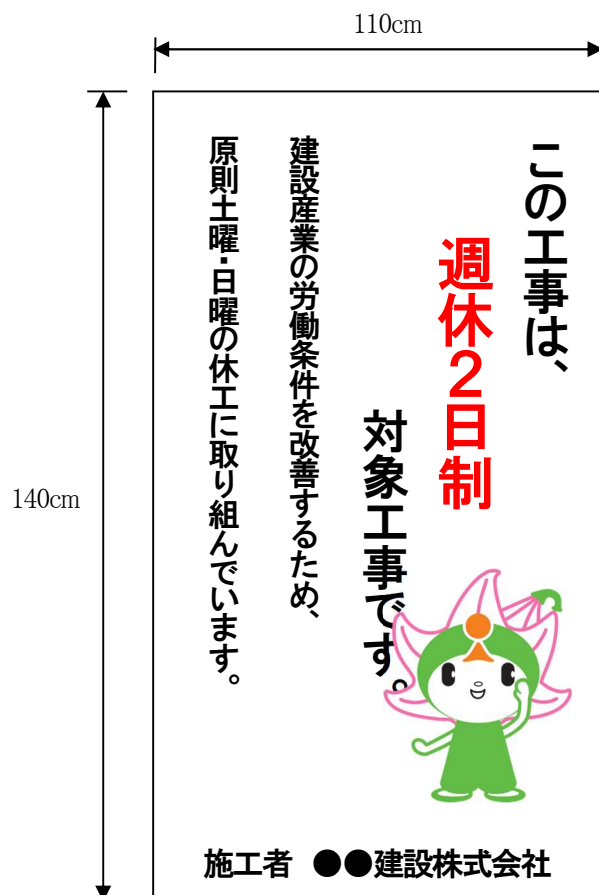
＜工事標示板を明記する工事看板例＞

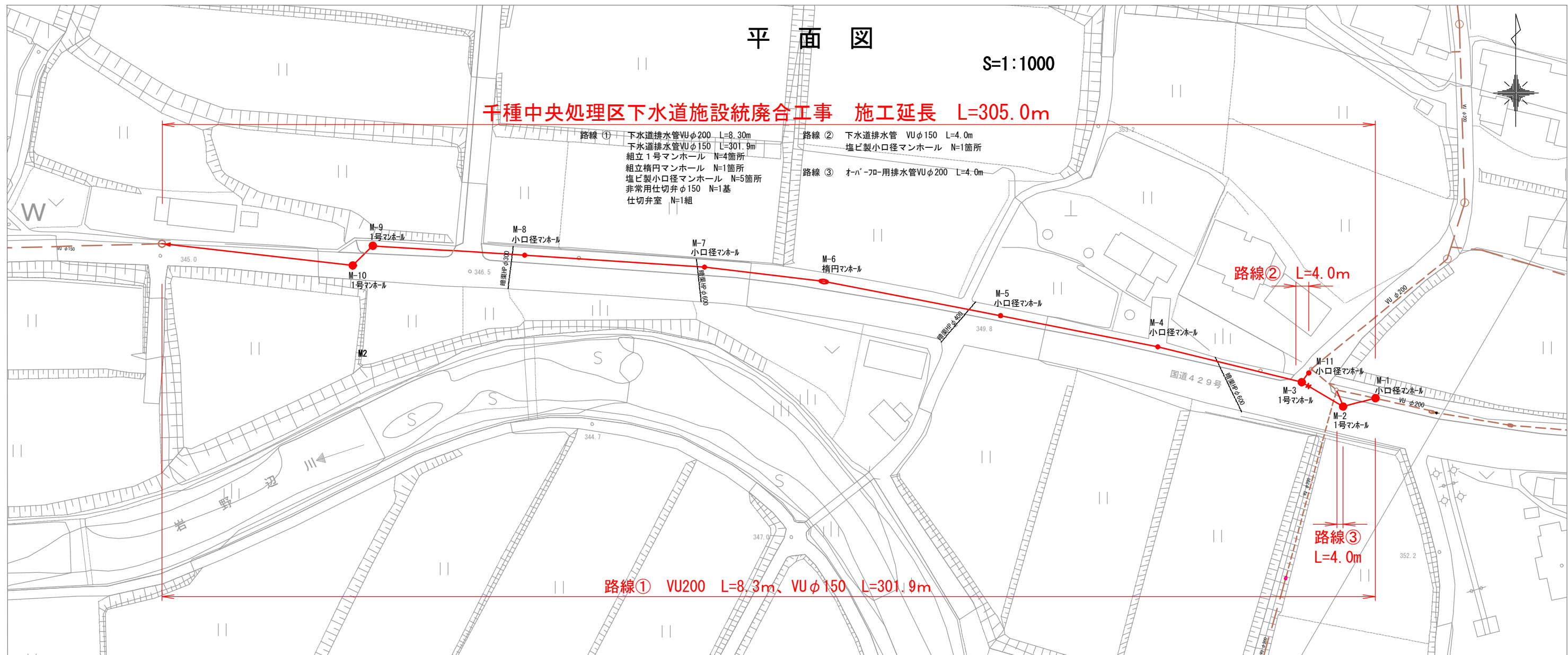


- (注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休２日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞

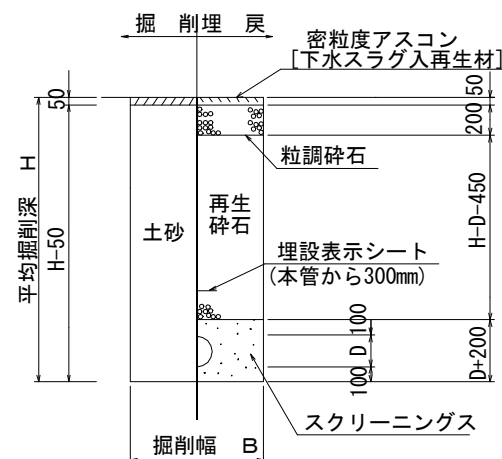




仮復旧工標準掘削断面図
S=1:40

掘削断面

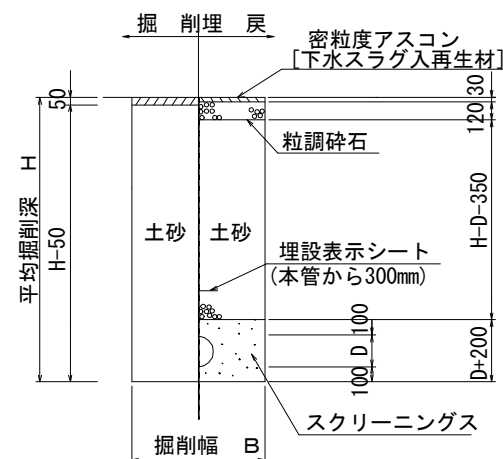
(車道部：国道) ※舗装仮復旧



※ 本復旧 表層 t=50mm
基層 t=50mm
路盤 t=150mm

掘削断面

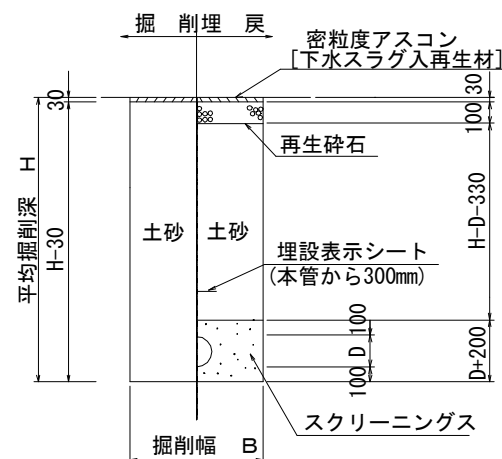
(車道部：市道) ※舗装仮復旧



※ 本復旧 表層 t=50mm
路盤 t=100mm

掘削断面

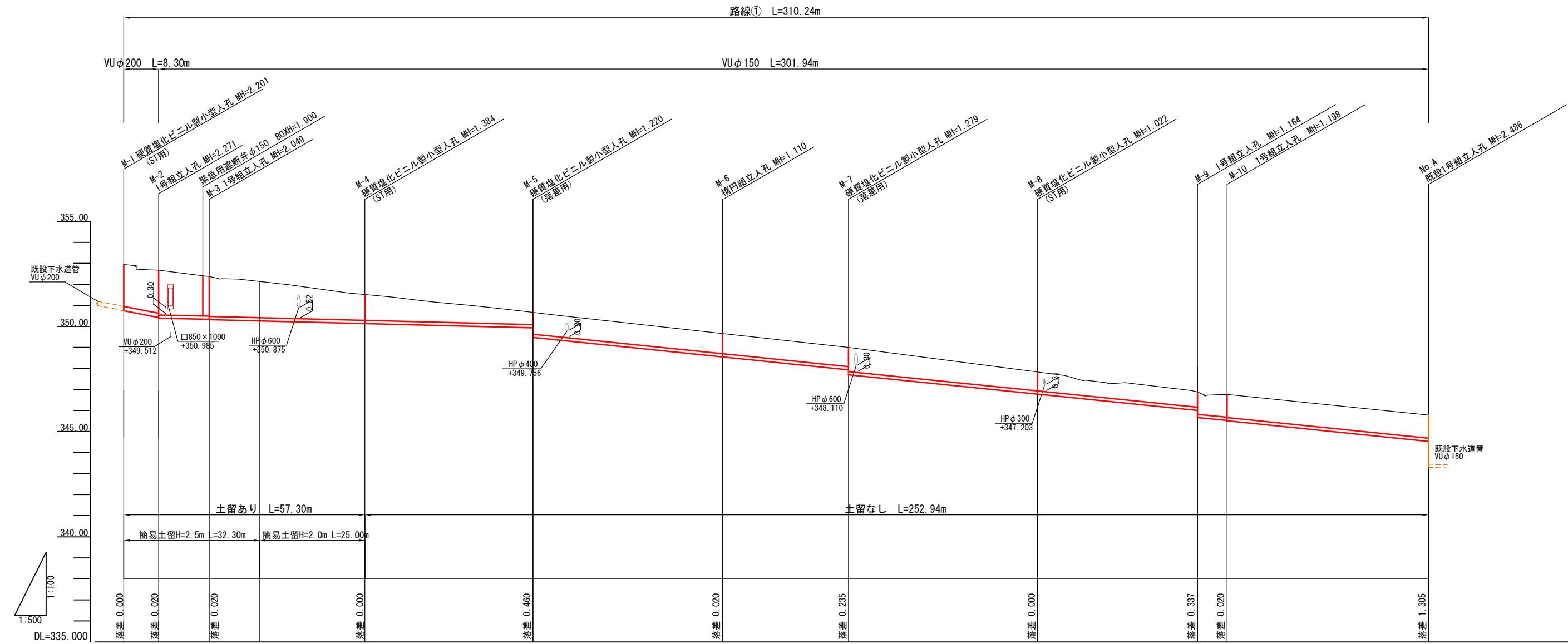
(歩道部) ※舗装仮復旧



※ 本復旧 表層 t=30mm(細粒度As)
路盤 t=100mm

実施

令和8年度		社会資本整備交付金事業	
千種中央処理区下水道施設統廃合工事（岩野辺）			
栄 栗 市 千 種 町 岩 野 辺 地 内			
計画平面図		1	業 金 5
縮尺 1：1000			
栄 栗 市			



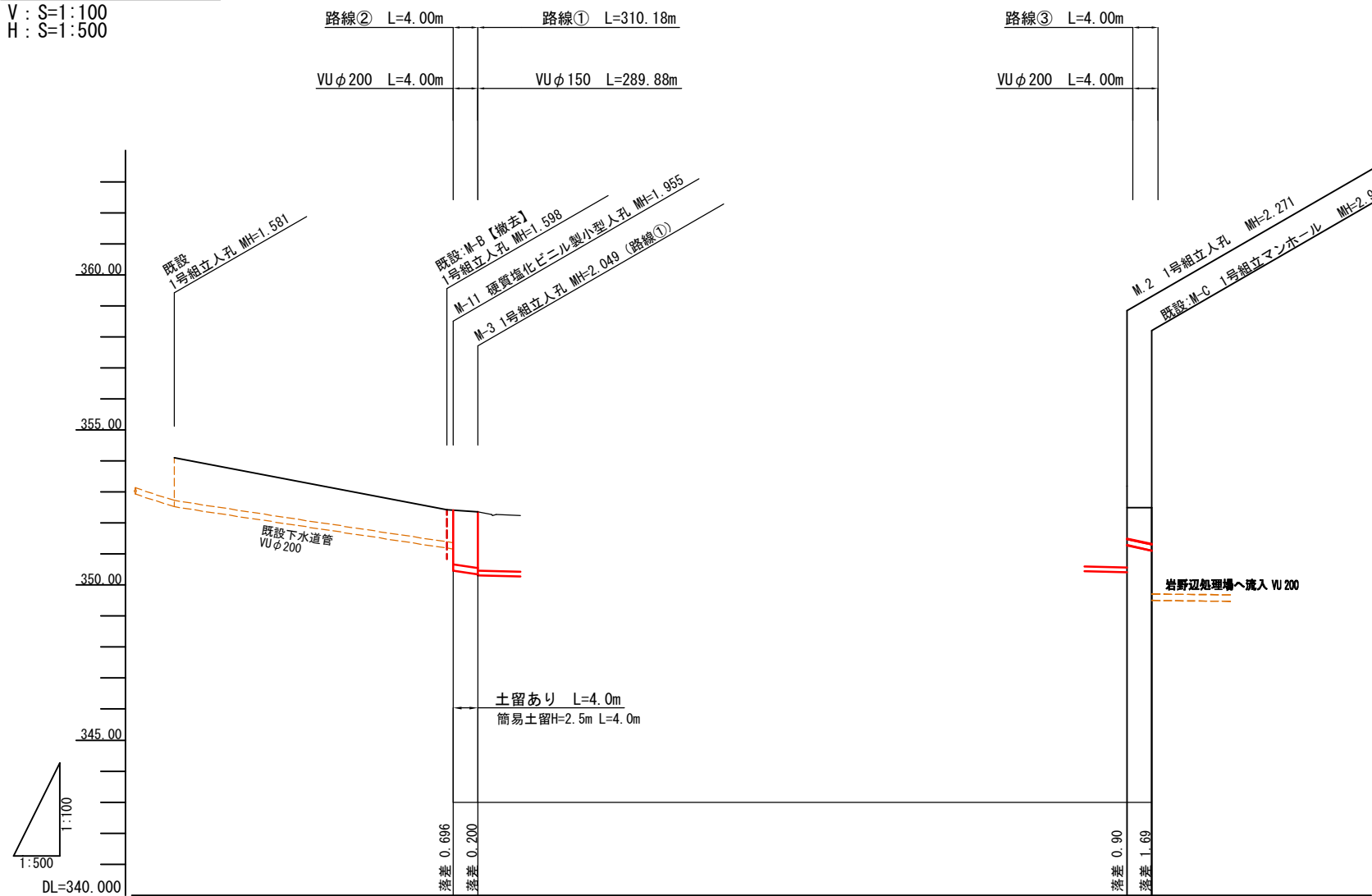
管 径・勾 配	① L=8.30m VUφ200 S=39.4% L=49.00m ②VUφ150 S=5.0% ③ VUφ150 S=20.0‰ L=252.94m											
土 被 り	1.99	2.04 2.11	1.87 1.89	1.73	1.22	0.60 1.06	0.93 0.95	0.88 1.12	0.86	0.67 1.00	1.02 1.04	1.02 2.33
掘 削 深	2.31	2.36 2.38	2.14 2.16	2.00	1.49	0.87 1.33	1.20 1.22	1.15 1.39	1.13	0.94 1.27	1.29 1.31	1.29
管 底 高	350.744	350.417 350.397	350.337 350.317	350.257	350.132	349.932 349.472	348.572 348.552	347.952 347.717	346.817	346.057 345.720	345.580 345.560	344.601 343.296
地 盤 高	352.945	352.668	352.366	352.257	351.516	350.692	349.662	348.996	347.839	346.884	346.758	345.782
追 加 距 離	0.000	8.300	20.300	32.300	57.300	97.300	142.300	172.300	217.300	255.300	262.300	310.24
単 距 離	0.000	8.300	12.000	12.000	25.000	40.000	45.000	30.000	45.000	38.000	7.000	47.940
測 点	M-1 小口径入孔	M-2 1号組立入孔	M-3 1号組立入孔		M-4 小口径入孔	M-5 小口径入孔	M-6 横円組立入孔	M-7 小口径入孔	M-8 小口径入孔	M-9 1号組立入孔	M-10 1号組立入孔	No. A 既設1号入孔

実施

令和8年度 社会資本整備交付金事業	
千歳中央地区地下水道施設整備工事（建設期）	
央 票 市 千 歳 町 岩 野 辺 地 内	
概算図 (1)	2 葉
縮尺 1 : 600 1 : 100	5
央 票 市	

縦断図(2)

V : S=1:100
H : S=1:500

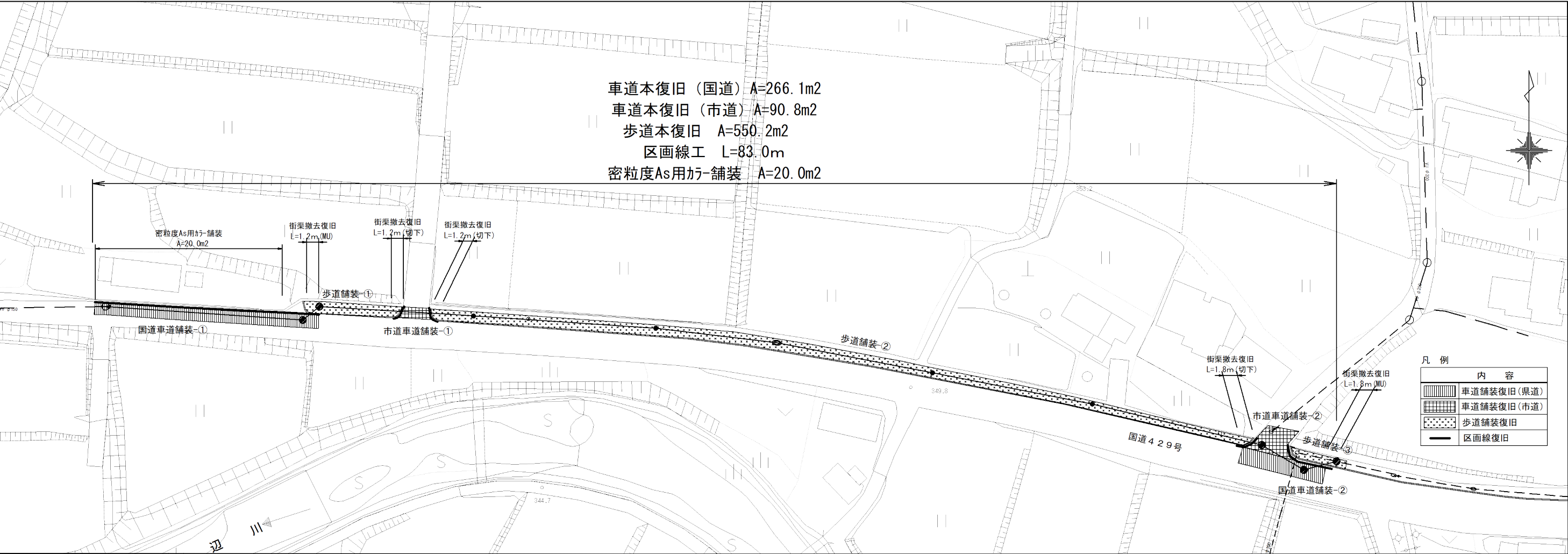


管 径・勾 配	L=4.00m ②VUφ200 S=30.9‰			L=4.00m ②VUφ200 S=30.0‰		
土 被 り	1.05 1.75 1.82			2.04 1.14 1.09 2.78		
掘 削 深	1.37 2.07 2.14 2.16			1.46 1.41		
管 底 高	351.157 350.461 350.337 350.317			350.417 351.320 351.200 349.508		
地 盤 高	352.416 352.366			352.668 352.497		
追 加 距 離	0.000 4.000			0.000 4.000		
単 距 離	0.000 4.000			0.000 4.000		
測 点	M-11 小口盛入孔 M-3 1号組立入孔			M-2 小口盛入孔 M-80-1 1号組立入孔		

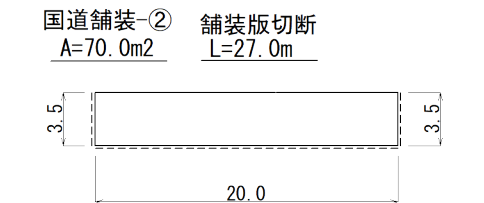
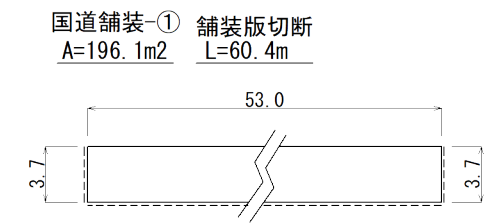


令和8年度 社会資本整備交付金事業			
千歳中央地盤低下水処理施設整備工事（岩野辺）			
央 票 市 千 歳 町 岩 野 辺 地 内			
縦断図(2)		3	葉 金
縮尺	1:500 1:100		5
央 票 市			

舗装復旧平面図 S=1:1000

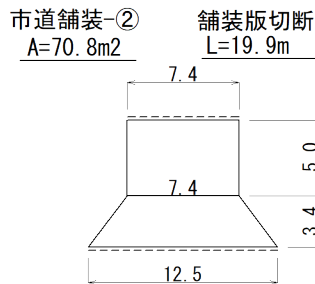
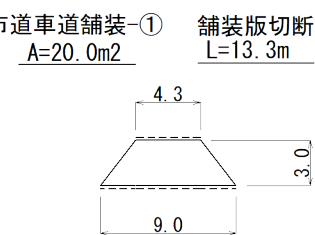


車道舗装展開図（国道） S=1:250



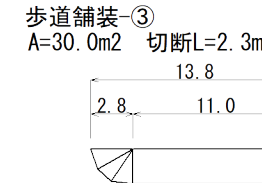
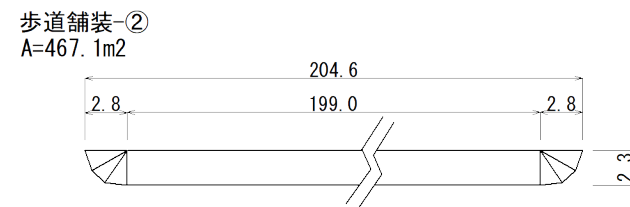
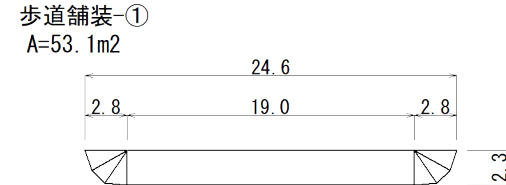
車道舗装本復旧（国道）
舗装版切断
L=60.4 + 27.0 = 87.4m
車道舗装
A=196.1 + 70 = 266.1m²

車道舗装展開図（市道） S=1:250



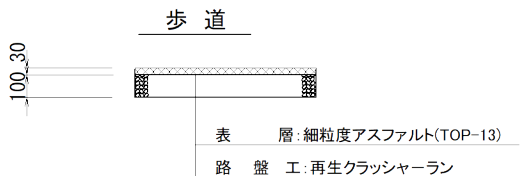
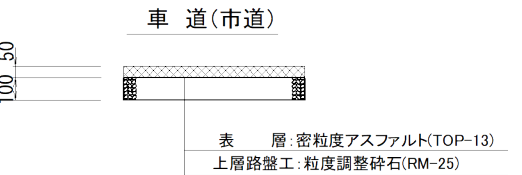
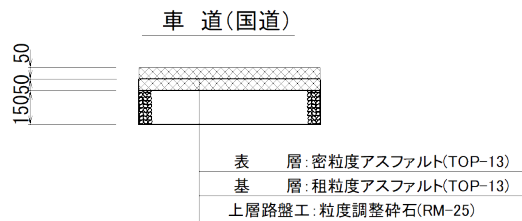
車道舗装本復旧（市道）
舗装版切断
L=13.3 + 19.9 = 33.2m
車道舗装
A=20.0 + 70.8 = 90.8m²

歩道舗装展開図 S=1:250



歩道舗装版切断
L=2.3m
歩道舗装
A=53.1 + 467.1 + 30.0 = 550.2m²

舗装本復旧工標準断面図



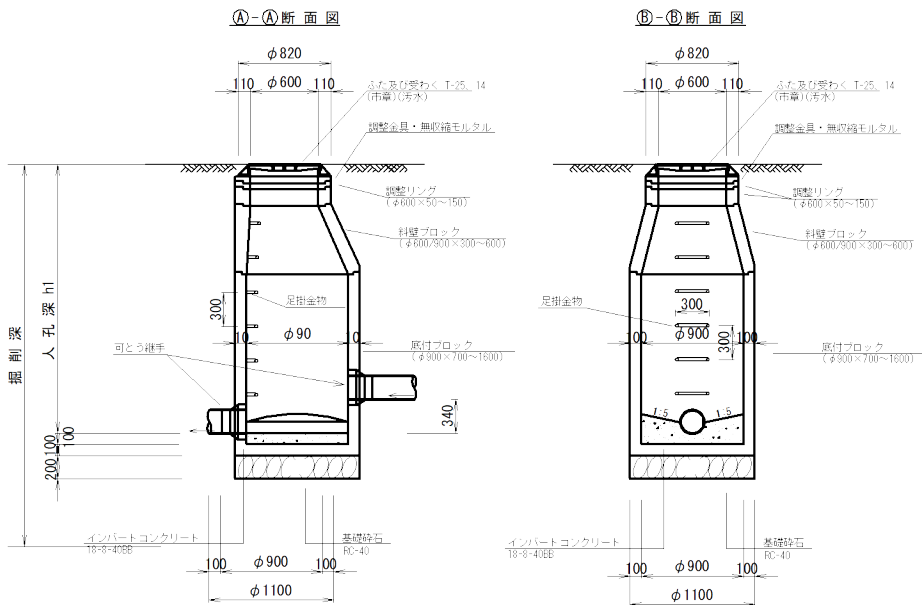
実施

令和8年度 社会資本整備交付金事業	
千歳中央集排水下水道施設整備工事（岩野辺）	
央 栗 市 千 種 町 岩 野 辺 地 内	
舗装平面図・展開図	4 業 全
縮尺 1:1000	5
央 栗 市	

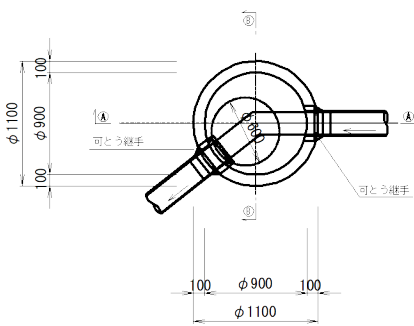
構造図

1号組立人孔構造図

S = 1 : 30

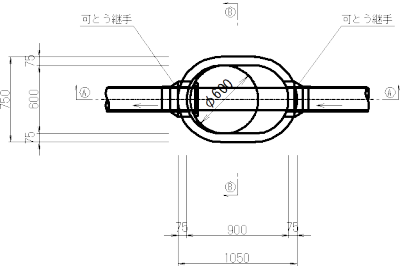
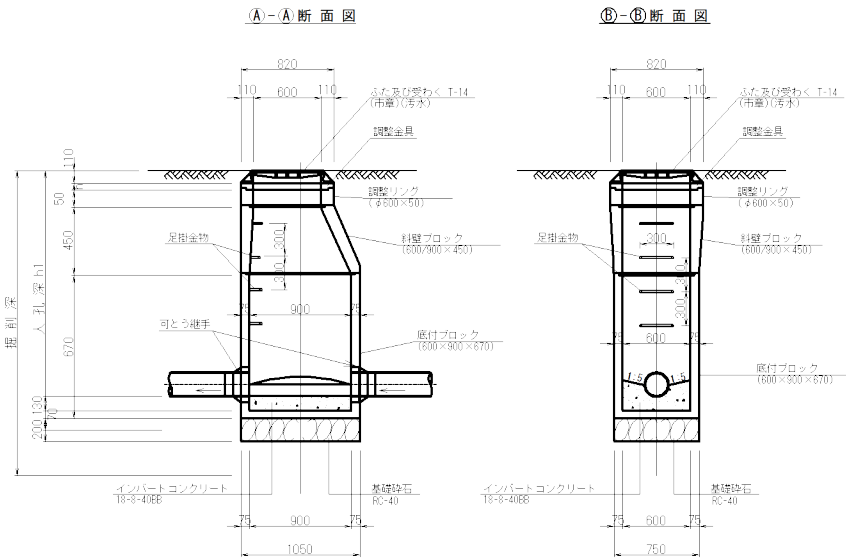


平面図



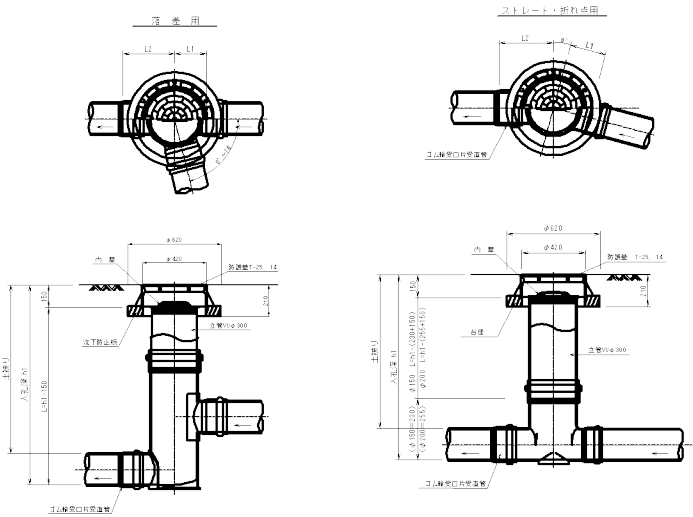
楕円組立人孔構造図

S = 1 : 30



硬質塩化ビニル製小口径人孔構造図

S = 1 : 20

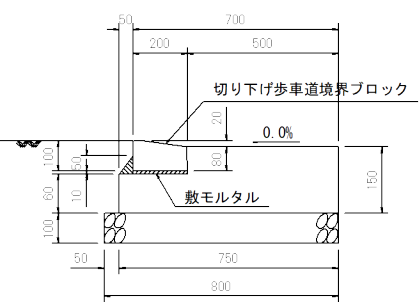


本管径	L1	L2
φ150	194	280
φ200	194	290

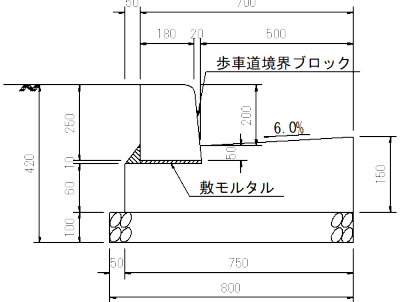
本管径	L1	L2	φ°
φ150	180	280	0° (ST)
	190	290	15°
	190	290	30°
	190	290	45°
	190	290	60°
	190	290	75°
190	290	90°	

街渠復旧工構造図

歩道切り下げ部 (NG500K型)



マウントアップ型 (NG500型)



実施

令和8年度	社会資本整備交付金事業
千種中央処理区下水道施設統合工事（岩野辺）	
栄 栗 市 千 種 町 岩 野 辺 地 内	
マウントアップ型	5
縮尺 図 示	5
栄 栗 市	